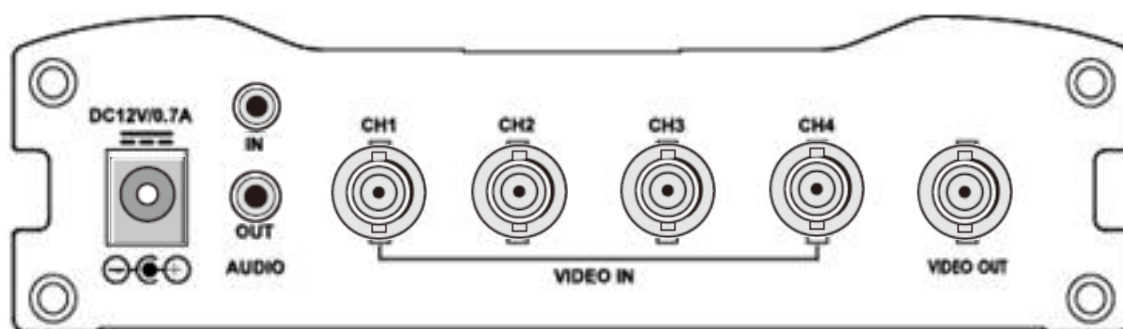


画像伝送装置

# LAN-NTSC264A 4ch

Remote Surveillance System



## 取り扱い説明書

(USER' S GUIDE Ver. 3.412)

アイゼック株式会社

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

1.	注意・警告	5
	このマニュアルについて	7
2.	システムの概要	7
2.1	LAN-NTSC264 4ch 概要	7
2.2	映像	7
2.3	音声	7
2.4	ネットワーク	7
2.5	シリアルデータ	7
2.6	センサー及びアラーム	7
2.7	USB インターフェイス	8
2.8	ユーザーインターフェース	8
2.9	高い安全性	8
2.10	システム構成例	8
2.11	システム仕様	9
2.12	True Manager™ (システム設定ソフトウェア)	10
2.13	LAN-NTSC264A 4CH 応用分野	10
2.14	構成	10
2.14.1	基本構成	10
2.15	システム環境及び設置	11
2.16	システムモード及び接続構成	12
2.16.1	1:1接続(片方向)	12
2.16.2	1:N 接続(片方向)	12
2.16.3	マルチキャスト(Multicast) モード	12
2.16.4	リポート(中継)	12
2.16.5	VMS ソフトウェア	13
3.	設置	13
3.1	カメラ・モニター接続	13
3.2	オーディオ接続	13
3.3	シリアルポート接続	13
3.4	センサー及びアラーム接続	13
3.5	電源接続	13
3.6	動作確認	14
3.7	LED による状態表示	14
4.	遠隔映像表示	15
4.1	True Finder での IP アドレス変更	15
4.2	Internet Explorer を利用した映像表示	16
4.3	IP アドレスの初期化	17
5.	サーバーの遠隔設定及びビデオ表示	18

5.1 遠隔設定	18
5.1.1 遠隔設定の利用	18
6. 設定	19
6.1 Video&Audio	19
6.1.1 Information	19
6.1.2 ビデオ	20
6.1.3 オーディオ	21
6.1.4 Output	21
6.2 Image	22
6.2.1 全般	22
6.3 ネットワーク	22
6.3.1 IP&Port	22
6.3.2 Discovery	23
6.3.3 SNMP	24
6.3.4 DDNS	24
6.3.5 IP Filtering	24
6.3.6 E メール	25
6.3.7 FTP	25
6.3.8 Google Drove	25
6.3.9 SSL	26
6.4 イベント	26
6.4.1 Notification	26
6.4.2 動体検知 (On Motion)	27
6.4.3 センサー	28
6.4.4 警報	28
6.5 録画	28
6.5.1 全般	29
6.5.2 Schedule	29
6.5.3 ディスクインフォメーション	30
6.5.4 検索ページ	31
6.6 Device	32
6.6.1 Information	32
6.6.2 シリアル	32
6.7 PTZ	33
6.7.1 全般	33
6.7.2 プリセット	33
6.8 ユーザー	33
6.8.1 ユーザーの登録	34
6.8.2 ログインポリシー(Login Policy)	34
6.9 システム	34
6.9.1 Information	34
6.9.2 Maintenance	35
6.9.3 時刻	35
6.9.4 システム ID	36

7.	True Manager の利用	36
7.1	True Manager プログラム	36
7.2	True Manager のインストール	36
7.2.1	True Manager の起動	37
7.3	サーバーの登録と削除	37
7.3.1	IP Discovery を使用してサーバーを登録	37
7.4	サーバー接続情報変更	38
7.5	サーバー接続管理	39
7.6	サーバー状態モニタリング	39
7.6.1	Servers タブ サーバー 一般情報	39
7.6.2	Channels タブ - ビデオ及びオーディオチャンネルの状態モニタリング	40
7.6.3	Peripherals タブ シリアルポート, センサー及びアラームポート状態モニタリング	40
7.6.4	Settings タグ 接続されている LAN-NTSC シリーズの設定内容の表示	41
7.7	ネットワーク及びシステム診断とアップデート	42
8.	付録 A: センサー及びアラームポート	44
8.1	センサーポート	44
8.2	アラームポート	44
9.	付録 B: シリアルポート	44
	品質保証書	46
	DDNS サービス 利用申込書	47

## 1. 注意・警告

ユーザーは、本製品の使用に先立ち全ての注意事項を良く読み、製品を正しくお使いください。  
表示された注意事項は重大な安全上の情報を含んでいるため、全面的に遵守しなければなりません。  
注意事項は、「危険」「警告」「注意」に分類されます。



危険

死亡または重傷の危険。最高の優先度の危険警告です。



警告

重傷またはそれより軽度のケガの危険。製品または財産への損傷を引き起こす恐れもあります。



注意

軽度のケガ、または損傷の危険。



重要

操作に関連する要件や制限。ユーザーは製品を適切かつ悪影響なく使用するために、関連する詳細事項を入念に読むことを推奨します。

上記の注意事項は、LAN-NTSC264A 4CH の使用が不適切な場合、それによって生じうる損害の度合いを示しています。



危険

従わない場合、死亡または重傷につながる恐れがあります。

- 電源コードは、AC100/200V(50/60Hz)の接地極付コンセントのみにつないでください。他の種類の電源コンセントにつないだ場合には、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品は、湿気の多い場所や水のかかる場所で使用しないでください。火災および感電の恐れがあります。
- ACアダプタ、電源コードの上に重いものを置かないでください。電源コードが損傷すると、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品の上に、液体の入った容器や小さな金属片を置かないでください。ユニット内に液体や金属片が入ると、火災および感電の恐れがあります。
- 電源コードに切れ目をつけたり、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり熱したりしないでください。電源コードが損傷すると、火災および感電の恐れがあります。
- 本製品の上部ケーシングを取り外さないでください。上部ケーシングを取り外すと感電の恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合には、製品を購入した販売店に連絡してください。
- 製品に改造を行わないでください。火災および感電の恐れがあります。
- 雷が発生したら、すぐに電源を切り電源コードをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。
- 製品付属のACアダプタ、電源コードのみ御使用ください。他の電源コードを使用すると、火災および感電の恐れがあります。
- 煙や異臭または異音が発生した場合には、すぐに電源を切り電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災および感電の恐れがあります。製品を購入した販売店にメンテナンスを要請してください。製品を落としたり損傷したりした場合には、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災および感電の恐れがあります。製品を購入した販売店にメンテナンスを要請してください。
- 濡れた手で製品に触らないでください。感電の恐れがあります。



従わない場合、重傷またはそれより軽度の怪我につながる恐れがあります。製品または財産に損害を与える恐れもあります。

- ACアダプタ、電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。
- 水や飲料をかけないでください。水や飲料がかかると、修理不可能な損傷が生じる恐れがあります。
- 雷が発生したら、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。製品が損傷を受ける恐れがあります。
- 本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。



従わない場合、軽度の怪我や損傷につながる恐れがあります。

- 製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。
- 以下の場所で使用または保管しないでください。
  - 温度が極端に低いか、高い場所
  - 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
  - 埃っぽい場所
  - 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所
- クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。
- 静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。
- 本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。



操作上の要件と制限を示します。ユーザーは、製品を適切かつ悪影響なく使用するために、関連する詳細事項を良く読んでください。

- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。必ず無停電電源装置(UPS)を使用してください。
- 本製品はビデオデータをハードディスクに録画する設計ですので、ハードディスクのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤動作につながる場合があります。本製品の設定は、資格のあるインストーラーが行わなければなりません。
- 本製品は外部機器(カメラ、センサー、USB 装置、LAN、ハードディスクなど)と接続して使用するため、外部要因による誤動作の恐れがあります。資格のあるインストーラーによる定期的なメンテナンスを必ず行ってください。

## このマニュアルについて

この機器はネットワークを使用する機器です、設置にはネットワークの知識が必要です。  
この説明書はネットワークの知識が有る人を対象に記載されています。

## 2. システムの概要

### 2.1 LAN-NTSC264 4ch 概要

LAN-NTSC264A 4CH は LAN, ADSL/VDSL, Wireless LAN など多様な IP ネットワークを使用し遠隔映像及び音声監視機能を提供する映像/音声伝送システムです。LAN-NTSC264A 4CH は Encoder 機能が有ります。Encoder システムは映像を圧縮して送信するシステムで、Decoder システムは映像を受信して復元するシステムで別途準備が必要です。

### 2.2 映像

- 最新高圧縮率アルゴリズムである H.264 を採用
- 二つの圧縮エンジンを搭載し、選択が可能(H.264/M-JPEG)
- 多様な解像度の圧縮: CIF (352x240) - D1 (720 × 480)
- 広い送信帯域幅に対応:各チャンネル 32kbps～2Mbps
- 使用目的による多様な送信モード支援: CBR(固定ビットレート), VBR(可変ビットレート)
- モーションディテクション機能

### 2.3 音声

- 多様な送信モードを支援: (Encoder → Decoder, Decoder → Encoder),

### 2.4 ネットワーク

- 固定 IP 及び動的 IP(DHCP) をサポート
- 1:1, 1:N 接続が可能
- マルチキャスト送信をサポート
- ネットワーク状態を考慮した自動送信速度調整機能

### 2.5 シリアルデータ

- 2 系統のシリアルポート支援
- 代表的なカメラに対する PTZ 制御プロトコル内蔵
- Data pass-through モードをサポート: Encoder - Decoder 間のシリアルポート間データ送信

### 2.6 センサー及びアラーム

- センサー及びアラームポートを装備し、外部機器の直接制御が可能
- 障害発生の時アラーム出力

## 2.7 USB インターフェイス

- USB storage を活用した録画 遠隔検索及び再生機能

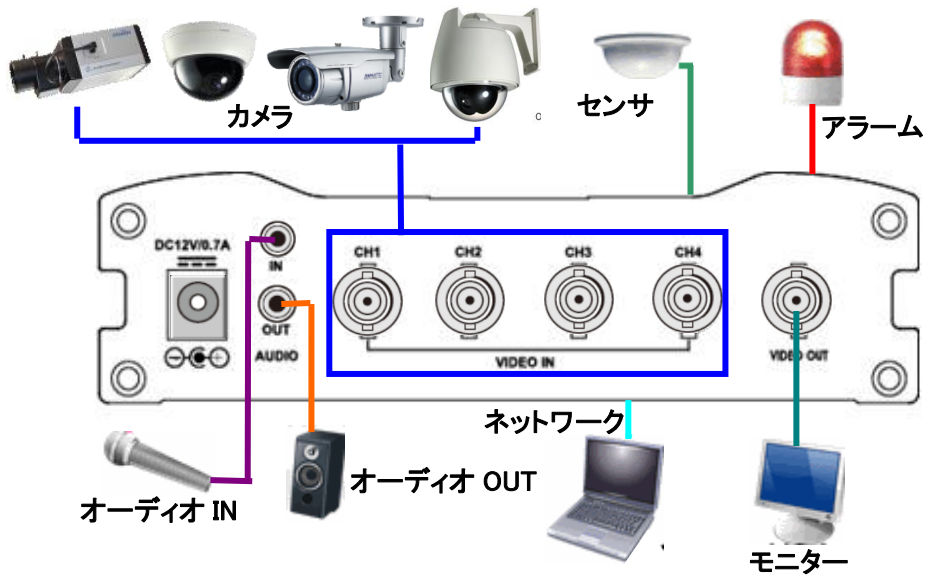
## 2.8 ユーザーインターフェイス

- OSD(On Screen Display)を利用したシステム状態表示
- Web 及び専用プログラムを利用した遠隔設定, 診断及びアップグレード機能

## 2.9 高い安全性

- エンベデッドシステム構成
- Watch-dog によるシステム復旧機能

## 2.10 システム構成例





## 2.11 システム仕様

分類	LAN-NTSC264A 4CH	
機能	Encoder(送信)	
映像	チャンネル数	4
	映像圧縮方式	メインストリーム H.264
		セカンダリストリーム h.264/M-JPEG
	映像伝送速度 1ch あたり	メイン 32kbps ~ 4Mbps / セカンダリ 32kbps ~ 1Mbps
	画像サイズ	CIF (352X240), Half-D1 (352X480、720 × 240) , Full-D1 (720X480)
	フレームレート	1~30fps 720 × 480
	映像タイプ	NTSC/PAL
	映像入力	4Composite BNC(NTSC/PAL) - 1Vp-p
	映像出力	1Composite BNC(NTSC/PAL) - 1Vp-p 4 分割
	ビデオロス検出	有り
	動体検出	モーションディテクト機能
音声圧縮方式	G.711、AAC	
音声	音声データレート	G.711:64Kbps , AAC:64Kbps,128Kbps
	音声サンプリングレート	G.711:8KHz , AAC:32KHz
	双方向	Full Duplex Audio
	音声入力	1 Line-in (Mini-Stereo, Single Mono)
	音声出力	1 Line-out (Mini-Stereo, Single Mono)
	プロトコル	IP v 4/ v 6,TCP, UDP, IGMP(Multicast), ICMP,DHCP, SMTP, HTTP,HTTPS,FTP,SNMP,SMTP,RTP,TSP,UPnP,WS-Discovery,Configretion、NTP
ネットワーク	インターフェイス	Ethernet 10/100/1000 Base-T (RJ-45)
	バックアップ/アップデート	USB 2.0 port
	シリアルポート	RS-232C: 1port (Terminal Block)
シリアル通信		RS-422/485: 1port (Terminal Block)
	通信速度	2,400 ~115,200bps
アラーム	センサー入力	2 port ノーマルオープン(Terminal Block)
	アラーム出力	2 port ノーマルオープン(Terminal Block)
	BEEP	1 内蔵ブザー 88db
	保存/バックアップ	内部又は USB メモリー
設定保存		Web 画面による PC への保存
E-mail	イベント送信	E-mail
設定	設定及びステータス	LED, オンスクリーン, 遠隔設定
ユーザー インターフェイス	PTZ Control	Web 及び VMS ソフトウェア
	ライブモニタリング	最大 36 台
ネットワーク クライアント V	録画	最大 36 チャンネル
	検索・再生	可能
	カメラ制御	可能
	バックアップ	AVI・BMP
一般	遠隔設定	可能
	サイズ(W*D*H)	(W) 134 × (D) 125 ×(H) 37 mm
	重量	480g
	使用温度範囲	0°C - 50°C
	電源入力	DC 12V PoE(Power Over Ethernet) : 802.3af
	消費電力	7.2 W

## 2.12 True Manager™ (システム設定ソフトウェア)

LAN-NTSC シリーズの各種モニタリングやシステム管理を行います

使用環境 : Microsoft Windows 95/98/NT/2000/XP/Vista/Windows7/Windows8 (TCP/IP 通信機能を有する事)

空き容量 : 300 KB 以上

## 2.13 LAN-NTSC264A 4CH 応用分野

- 保安 (ビル, 商店, 工場, 駐車場, 金融機関, 政府機関, 軍事など)
- 遠隔映像監視 (病院, 幼稚園, 交通状況, 海外地点/工場監視, 気象監視, 環境及びごみ投機監視など)
- リアルタイムインターネット放送 (休養施設, 各種行事, 記念行事など)
- 遠隔地の遠隔教育など

### 使用可能な PC のスペック

機能	最低	推奨
CPU	Pentium IV3.0GHz 以上	Pentium IV Dualcore 以上
Main Memory	1G 以上	2G 以上
HDD	録画時 120G 以上	録画時 200G 以上
ビデオカード	メモリー128M 以上	メモリー256M 以上
OS	Windows XP	Windows XP Professional Windows Vista、Windows7
ウェブブラウザ	インターネットエクスプローラ 6.0 以降	インターネットエクスプローラ7.0 以降
解像度	1024×768 以上	1024×768 以上
ネットワーク	10/100 Base-T 以上	10/100 Base-T 以上
DirectX	9.0C 以降	9.0C 以降

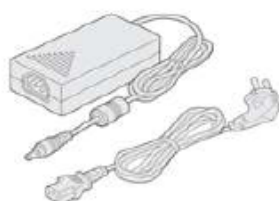
## 2.14 構成

### 2.14.1 基本構成

LAN-NTSC264A 4CH には下記の物が含まれています



LAN-NTSC264 4ch



AC アダプタ・電源コード



CMS S/W CD

## 2.15 システム環境及び設置

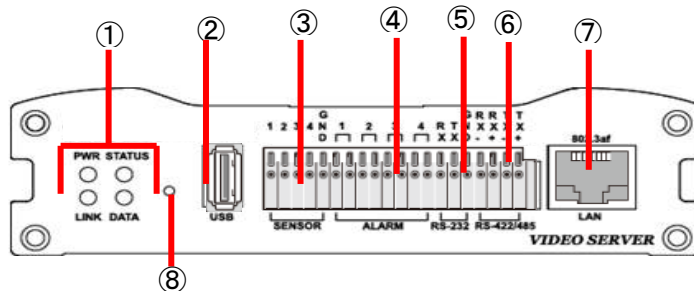
システムを設置する時には湿り気と直射日光を避け、涼しい環境に設置し、システムが傾かないように気を付けてください。

この章で説明するシステムの接続とケーブルなどを参照して、システムを設置してください。

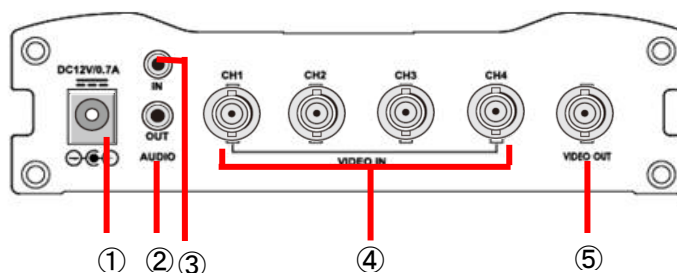
LAN-NTSC264A 4CH は 25mm の高さのかまぼこ形です。

**本装置の設置にはネットワークの知識が必要です。  
本マニュアルは一定のネットワークに関する知識の有る方向けに記載しています。**

### ■LAN-NTSC264A 4CH 前面



名称	機能
①ステータス表示	システムの動作状態を表示する LED
②USB コネクタ	USB2.0
③SENSOR	外部センサー入力ターミナル × 4
④ALARM	接点出力端子 × 4
⑤RS-232	シリアルポート
⑥RS-422/485	カメラ制御など外部装置を接続するためのシリアルポート RS-422 及び RS-485 プロトコルをサポートします
⑦LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続 100/10-base-T Ethernet をサポート
⑧リセットボタン	工場出荷状態にします



名称	機能
①POWER IN	DC12V 専用の AC アダプタを使用
②オーディオ出力	音声出力 ラインレベル
③オーディオ入力	音声入力 ラインレベル
④映像入力	NTSC 入力 VIDEO1～VIDEO4
⑤映像出力	NTSC 入力 4 分割

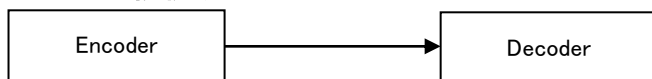
## 2.16 システムモード及び接続構成

LAN-NTSC264A 4CH は Encoder モードで動作します。カメラ入力映像を圧縮して送信する場所に Encoder を設置し、映像を受信して復調する Decoder をセンターに設置してお互いに接続する 1:1 接続構成が一般的ですが、必要に応じて一つのサイトの映像をいくつかのセンターへ送るための 1:N 接続構成も可能です。

システムモードによる映像・音声・シリアルデータの送受信機能は下表のようになります。

システムモード	映像	音声	シリアルデータ
Encoder	送信	送信及び受信	送信及び受信
Decoder	受信	送信及び受信	送信及び受信

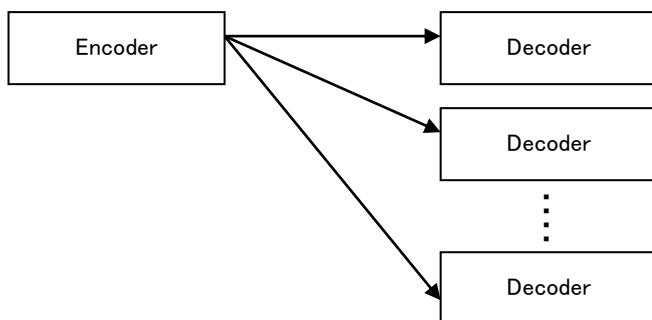
### 2.16.1 1:1接続(片方向)



一般的に使われる構成です。Encoder が現場(site)に設置され、映像を送信しセンターに設置された Decoder が受信しモニターに出力します。音声及びデータは両方向に送信されます。

(Decoder の Remote IP に Encoder のアドレスを設定して接続します)

### 2.16.2 1:N 接続(片方向)

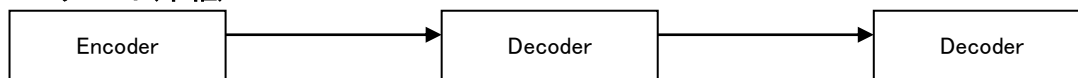


一現場(site)の映像を多数のセンターでモニタリングするための構成です。最大 64 個の Decoder を一つの Encoder に接続することが出来ますが、実際環境ではネットワーク帯域幅によって接続可能な Decoder の数が制限されます。Encoder に接続される Decoder と CMS(Central Monitoring System) S/W は等しく取り扱いされます。したがって上の構成で一部 Decoder 代わりに CMS を使用することが出来ます。

### 2.16.3 マルチキャスト(Multicast) モード

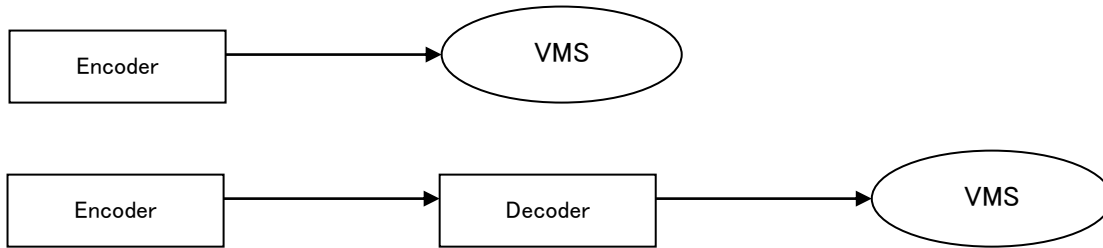
マルチキャストをサポートするネットワークではシステムのプロトコルを Multicast に設定すれば 1:N 接続で Decoder の制限なしに映像及び音声データをそれぞれ 1 個のストリームだけが送信されるので帯域幅を効率的に使うことができます。

### 2.16.4 リピート(中継)



一つのセンターで受信したサイト映像をまた他のセンターに中継する機能です。サイトへのネットワークに制約がある場合このような構成を利用してネットワークを効果的に使うことができます。

### 2.16.5 VMS ソフトウェア



VMS は PC 上で実行される Windows アプリケーションとして多数のビデオサーバーシステムからの映像、音声及びイベント(event)をリアルタイムでモニタリングし、ビデオサーバーに繋がれたカメラを制御する機能を有します。一般的に VMS は Encoder に接続しますが、必要に応じて Decoder に接続することもできます。VMS の事項は別途の VMS 使用者マニュアルを参照してください。

## 3. 設置

### 3.1 カメラ・モニター接続

#### Encoder システム(本装置)

カメラを VIDEO IN 端子に接続します。

### 3.2 オーディオ接続

Decoder 及び PC 接続で両方向で送信がサポートされ、必要によって Tx-Only(片方向送信), Rx-Only(片方向受信) 及び Tx & Rx(両方向送受信) モードを設定することができます。

- AUDIO IN 及び AUDIO OUT 端子をアンプ入出力に適切に接続してください。
- オーディオ入出力はラインレベル(Line level)で動作します。したがってアンプ、ミキサーまたはその他増幅機能を持ったオーディオ装置を使わなければなりません。

### 3.3 シリアルポート接続

カメラコントローラー、レシーバーなどシリアル通信を利用する機器をシリアルポートに接続してください。Encoder のシリアルポートと Decoder のシリアルポートは 1:1 対応され data pass-through 動作を基本的にサポートします。ローカルシステムの COM1 入力(出力)は遠隔地システムの COM1 出力(入力)に送信されて、ローカルシステムの COM2 は遠隔指示システムの COM2 と両方向送信されます。

### 3.4 センサー及びアラーム接続

センサー及びアラームターミナルに外部センサー及び制御可能な装置を接続してください。

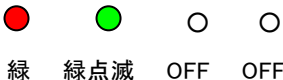
### 3.5 電源接続

供給電圧を確認した後電源 AC アダプダを接続して AC アダプダの 12V DC 出力をシステムに接続すれば起動が始まります。

### 3.6 動作確認

電源が供給されると起動が始まり、約 30 秒経過すると起動が完了します。システムモデルによって起動後 LED が動作状態を表示します。


#### Encoder の LED 表示

PWR STATUS LINK DATA  


上図は VIDEO IN 端子にカメラが繋がれていて Decoder とは接続されていない単独で起動時の場合です。

Decoder と接続されれば LINK LED が緑に変わって DATA LED がビデオまたはオーディオ送受信状態によって点滅します。

#### Decoder の LED 表示

PWR STATUS LINK DATA  


上図は Encoder と接続しないで単独で起動した場合です。Encoder と接続すれば LINK LED が緑に変わって DATA LED がビデオまたはオーディオ送受信状態によって点滅します。

### 3.7 LED による状態表示

各 LED の表示で製品動作状態を確認することができます。

LED	STATE	
PWR	OFF	電源が供給されていません
	緑点灯	電源が入っています
STATUS	緑点滅	正常動作中
	赤点灯	アブノーマル状態。確認が必要です。
	赤と緑繰り返す	NTSC/PAL 設定と入力信号が異なる場合
	赤点滅	DHCP(動的 IP) で IP を受けることができなかった状態
	緑 2 回, 赤 1 回交互に点滅	DDNS サーバーに登録ができない状態
	緑点滅 5 回に 1 回赤点滅	Encoder システムからビデオ入力がない状態 (Video Loss) Decoder
LINK	OFF	接続されていません
	緑点灯	接続状態
	赤点滅	接続トライ中
	オレンジ点灯	正しくない接続 すなわち許容されないモードで接続した場合
DATA	緑点灯	送信するデータがあります
	赤点灯	データがあるが損失が発生しています
	OFF	送信データが無い


## 4. 遠隔映像表示

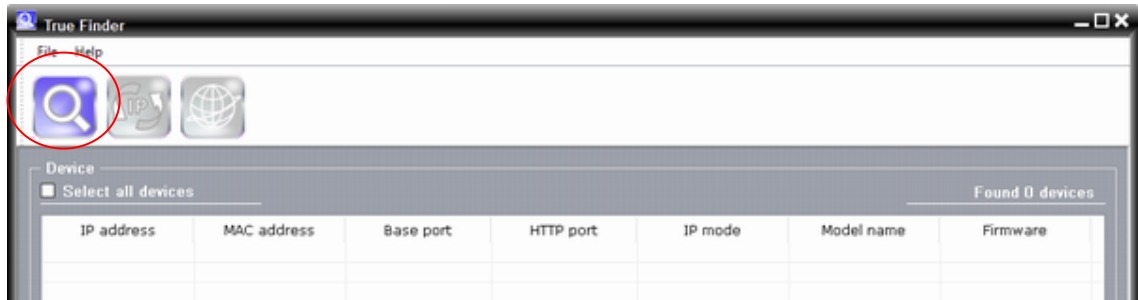
外部機器を正しく接続した後、システムが正常に動作する状態で次の二つの方法で一つを遠隔地の映像を確認することができます。この時システムの IP アドレスが正しく設定されてなければなりません。


これに対する詳しい方法は True Manager の利用及び遠隔設定の部分を参照してください。

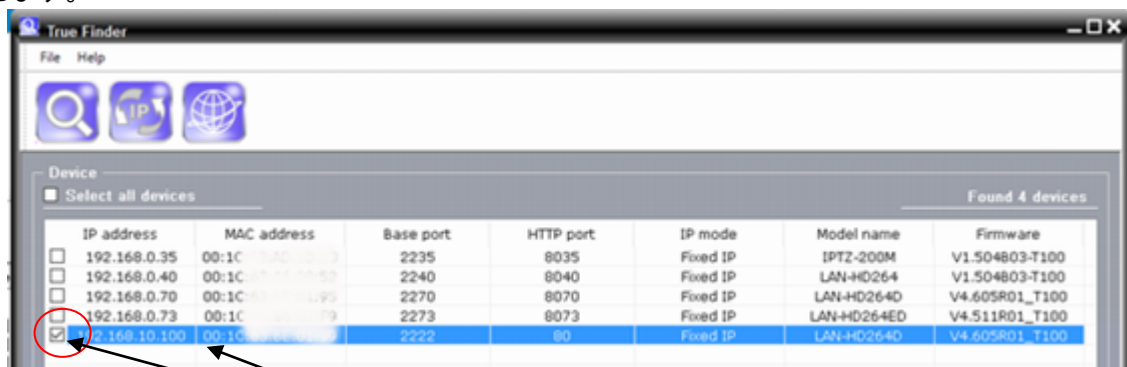
### 4.1 True Finder での IP アドレス変更

付属の CD に有る True Finder を起動します。


 TrueFinder.exe をダブルクリックします。




 をクリックします。

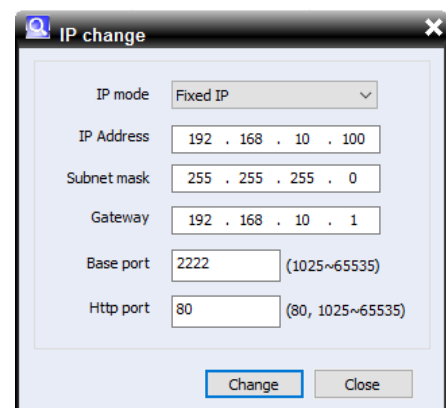


IP アドレスを変更する機器の  にチェックを入れます。  
変更する行を選択します。

 をクリックします。

設定変更窓が開きますので変更項目を指定して Chang ボタンを押す。

変更後  ボタンを押すとブラウザが開きます。



## 4.2 Internet Explorer を利用した映像表示

Internet Explorer アドレス窓に Encoder の IP アドレスを入力すると、システムのセキュリティー設定にて web viewing のための Active-X control をインストールするかを問うポップアップが現われます。OK した場合の下のような画面が現われ、Encoder の映像が表示されます。

デフォルトの IP アドレス

http://192.168.10.10

ログイン画面が表示されます。

ID とパスワードを入力します。

ID の初期値 **admin**

パスワードの初期値 **1234**  をクリック

ライブ画面が表示されます。

初回使用時は Windows 上で ActiveX のコントロールをインストールする画面が出ますので、画面の指示によりインストールしてください。又、Internet Explorer のツールメニューのツールでインターネットオプションを選択し、セキュリティータグのレベルのカスタマイズで ActiveX コントロール関連を有効にする必要があります。

### ビデオ選択

#1～#4 カメラ及び Quad チャンネルを選択します。

Quad チャンネルは 4 分割で表示されます

### 画面サイズ

表示される画像の大きさを指定します。

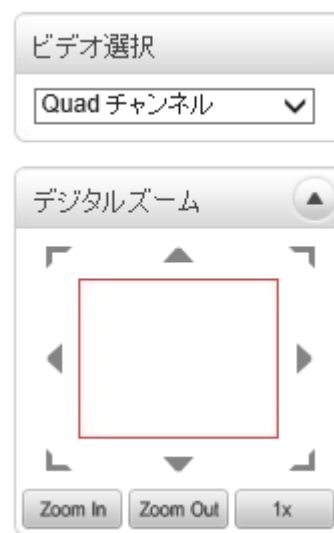
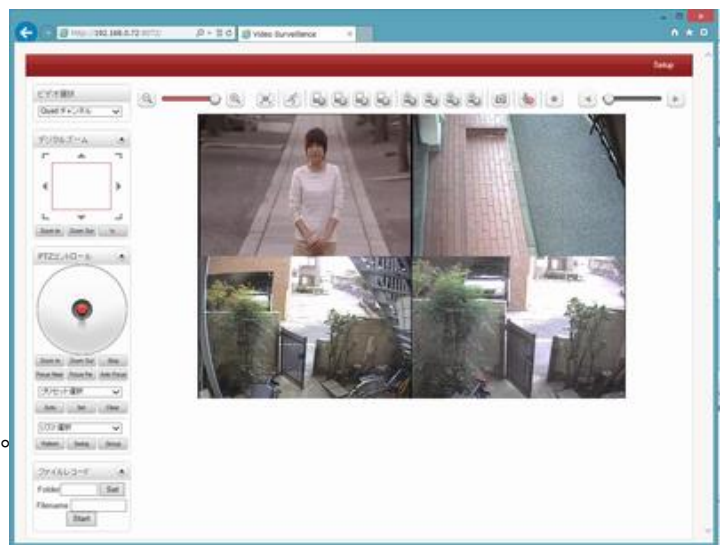
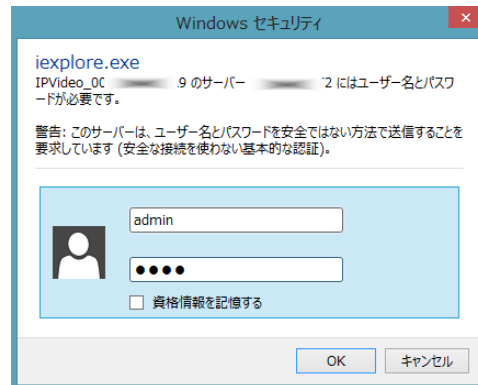


### デジタルズーム

ボタンで画面を拡大、縮小します。

デジタルズーム使用時は上下左右ボタンで画面に表示される部分を移動する事ができます。

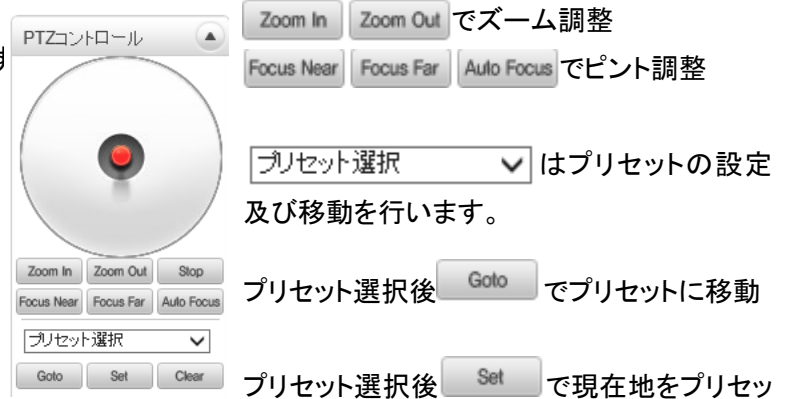
ボタンで元の大きさに戻ります。





## PTZ コントロール

PTZ カメラ使用時カメラの方向制御が出来ます。円の中をクリックするとカメラがその方向に移動します、円の内側が遅く移動し、外側は早く移動します。



**センサーの状態表示:** センサーが動作していると表示が赤くなります。



**警報の常態表示:** 警報(リレー出力)が ON の時表示が赤くなります。



**スナップショット :**  をクリックすると静止画が表示され、SAVE ボタンを押すと

画像の保存フォルダーが表示されますのでフォルダーを選択し、ファイル名を入力して保存が出来ます。

## 動画の一時保存

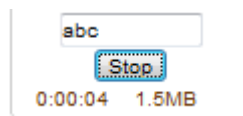
動画を保存する Folder を選択します **Set** を押すとフォルダーリストが表示されますのでフォルダーを選択又は作成します。

Filename 欄に保存するファイル名を入力します。

**Start** ボタンを押すと録画が開始されます。

録画時間と録画サイズが表示されます。

**Stop** ボタンで録画を終了します。



作成される動画ファイルは H.264 で圧縮された AVI ファイルです。AVI ファイルの表示できるソフトウェアで再生が可能です。

Windows Media Player では正しく再生できない場合があります、この場合はフリーの VLC media player 等で試してください。これは Windows Media Player のバージョンや H.264 コーデックに対応していない場合に発生します。

## 4.3 IP アドレスの初期化

システムの IP アドレスを忘れた場合、後面部のリセットボタンを利用してシステムの IP アドレスを初期化できます。使用方法は次の通りです。

システム動作中にリセットボタンを 5 秒以上押します。

システムが再起動します。

再起動後 IP アドレスが次の状態で初期化されます。

- |                |                |              |              |
|----------------|----------------|--------------|--------------|
| - IP モード:      | Fixed IP       | - Gateway:   | 192.168.10.1 |
| - IP アドレス:     | 192.168.10.100 | - Base Port: | 2222         |
| - Subnet mask: | 255.255.255.0  | - Http Port: | 80           |

## 5. サーバーの遠隔設定及びビデオ表示

LAN-NTSC264A 4CH はウェブベースの遠隔設定及びビデオモニタリング機能を提供します。サーバーを選択した後 Server メニューの Setup を選択すれば Internet Explorer が実行されて遠隔設定ができるページが現われます。Viewer を選択すれば Internet Explorer 内にサーバーからの映像が表示されます。

### 5.1 遠隔設定

#### 5.1.1 遠隔設定の利用

ウェブブラウザを利用した遠隔設定が提供されます。Internet Explorer アドレス欄にサーバーの IP アドレスを入力すると画面にはライブモニタリング画像が表示されます。この画面右側上端の Setup ボタンを押せば遠隔設定のパスワード画面が表示されます。遠隔設定を使うためには 'Manager' レベル以上の権限を持ったユーザーでログインしなければなりません。



設定項目は Video&Audio, image, ネットワーク, イベント, 録画, デバイス, PTZ, ユーザ, システムの 9 グループ(タブ)で構成されています。設定しようとする項目を操作すれば該当の項目が Apply ボタンを押した後適用されます。また特定グループで項目を操作した後 Apply ボタンを押さないで他のグループに移動して Apply ボタンを押しても、前のグループの設定内容は反映されません。

以下項目は、System タブで言語を日本語に設定した状態で解説します。



## 6. 設定

### 6.1 Video&Audio

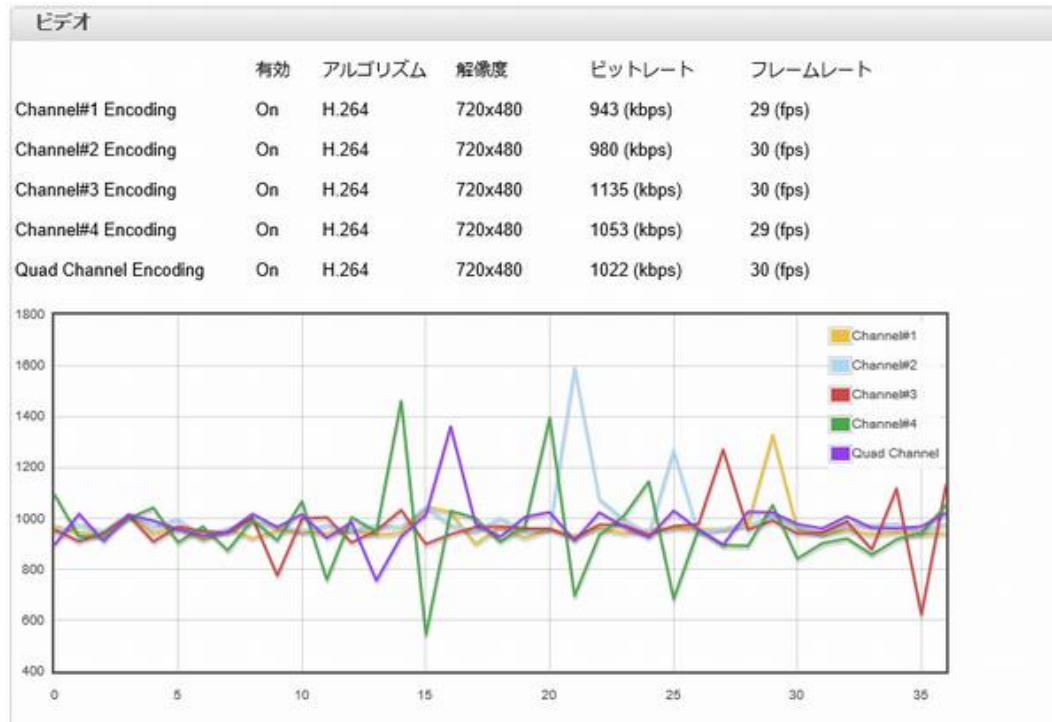
#### 6.1.1 Information

##### 6.1.1.1 ビデオ

各チャンネルの有効/無効、圧縮方式、解像度、ビットレート、フレーム数を表示します。

Quad Channel は分割表示の場合に表示されます。

グラフで現在のビットレートを表示します。



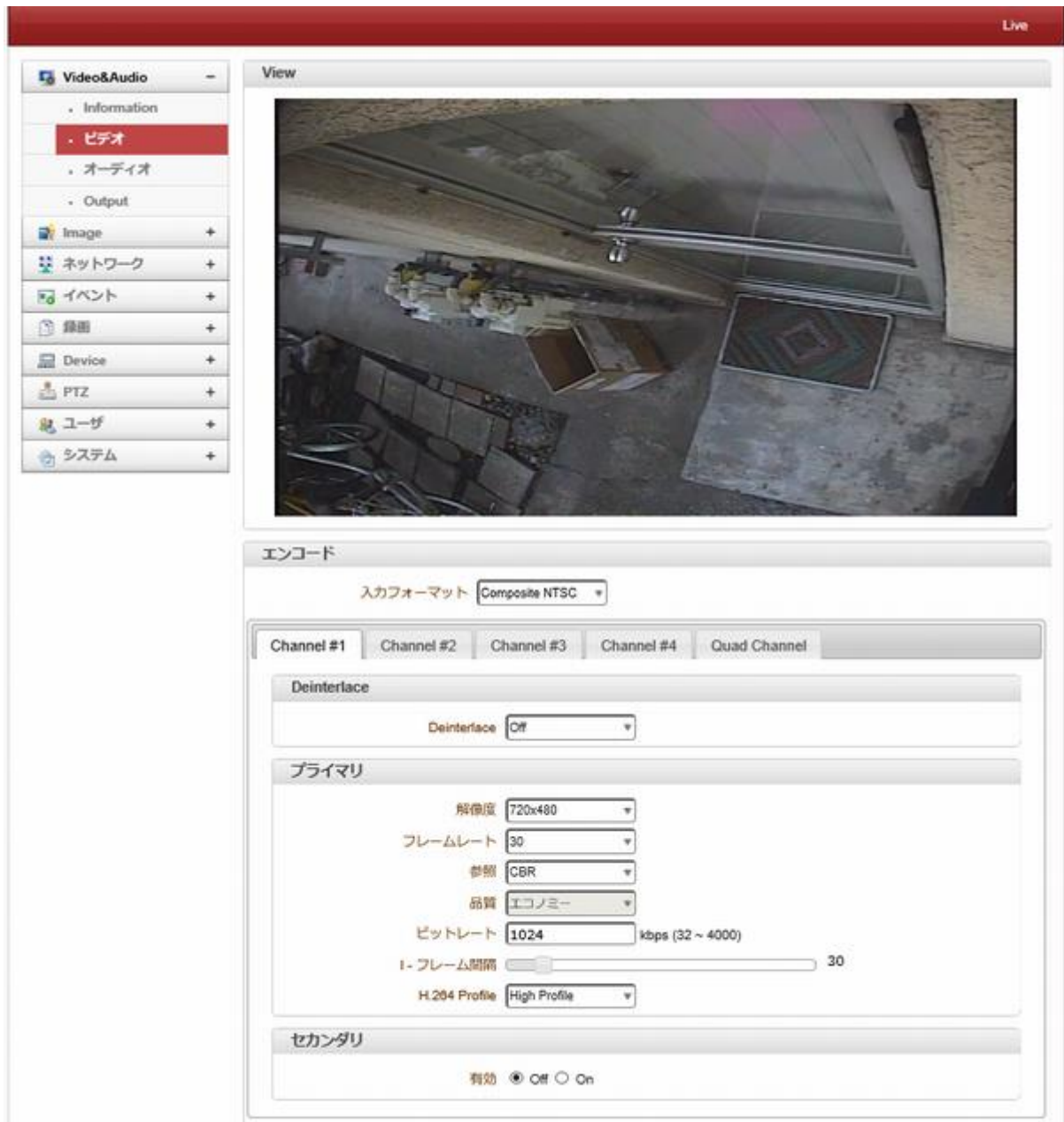
##### 6.1.1.2 オーディオ

オーディオの有効/無効、圧縮方式、サンプリングレート、ビットレートを表示します

オーディオ				
	有効	アルゴリズム	Samplerate	ビットレート
Audio Encoding	Off	N/A	N/A	0 (kbps)
Audio Decoding	Off	-	-	0 (kbps)

## 6.1.2 ビデオ

## 6.1.2.1 エンコード



**入力フォーマット** 映像信号のフォーマットを指定します 通常日本では NTSC です

**Channel #1～#4** 各チャンネルの映像フォーマットを指定します

**解像度(Resolution)** ビデオ圧縮解像度を

NTSC : 720 x 480, 352 x 480, 352 x 240 / PAL : 720 x 576, 352 x 576, 352 x 288 から選択

**フレームレート(Frame rate)**

1 秒間の画像生成数を指定します。生成されたデータをネットワークに送信することができない時には設定した値より少なくなります。

**参照** VBR(画質優先) / CBR(ビットレート優先) / Hybrid を切り替えます

**品質(Quality)** VBR の時画質優先時ビデオ圧縮の品質を設定します

**ビットレート(Bitrate)** CBR ビットレート優先時ビデオ生成ビットレートを設定します。

## I フレーム間隔(I-Frame Interval)

Frame の間隔を 0～255 まで設定可能です。0 に設定すると P-Frame が生成されません。

## H.264 Profile

High Profile 、 Baseline Profile を選択

※Baseline Profile は I フレーム P フレームのみ、High Profile は Baseline Profile に B フレームを追加し、8×8 画素整数変換、量子化マトリックス等を加えたもの

## セカンダリ ディアルエンコード

デュアルエンコード使用

ON ディアルエンコードを使用する

OFF ディアルエンコードを使用しない

遠隔で JPEG を使用したり、ライブと録画の画像サイズ等を変更したい場合に使用します。

画像フォーマットと解像度、フレームレート、画像品質を個別に設定可能です。

## 6.1.3 オーディオ

### 6.1.3.1 オーディオ

#### Audio Source

オーディオの入力タイプ

アルゴリズム 圧縮方式 G.711 と AAC が

選択可能です。

選

G.711 ビットレート 64K 固定です

AAC サンプリングレート 32K/44.1K/48K を選択

ビットレート 64K/128K から選択

モード OFF オーディオを使用しない / 送信のみ / 受信のみ / 送受信

AAC の場合は送信のみ使用可能です

### 6.1.3.2 音声入力調整

音声入力調整:

音声の入力レベルを調整します

## 6.1.4 Output

映像及びオーディオの出力フォーマットを指定します。

### 6.1.4.1 ビデオ

映像出力端子の出力チャンネルを指定

Channel#1～#4 及び Quad

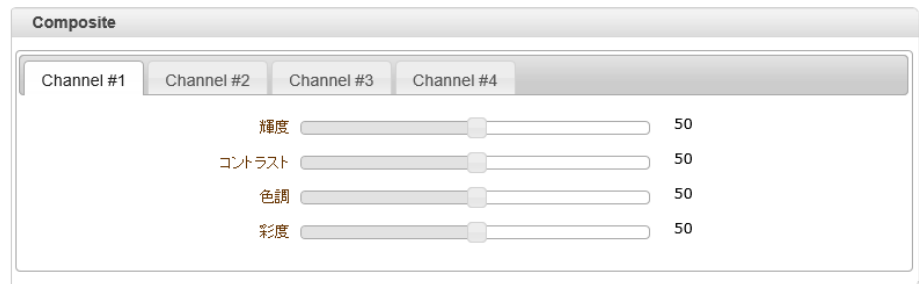
### 6.1.4.2 オーディオ

Audio Output Decoded Audio は受信したオーディオ

Loopback は入力をそのまま出力

## 6.2 Image

### 6.2.1 全般



#### 6.2.1.1 Composite

入力画像の輝度、コントラスト、色調、彩度を調節します

輝度	画像の明るさを調節します。
コントラスト	画像の濃淡を調整します。
色調	画像の色合いを調節します。
彩度	色の濃さを調節します。

#### 6.2.1.2 Codec

圧縮画像の輝度、コントラスト、色調、彩度を調節します

輝度 画像の明るさを調節します。

コントラスト 画像の濃淡を調整します。

彩度 色の濃さを調節します。

Noise Filter ノイズフィルターの Off/2D/3D#1/3D#2/Strong/Blend

Edge Enhancement Mode Off/On



調  
ま

## 6.3 ネットワーク

### 6.3.1 IP&Port

#### 6.3.1.1 ローカル

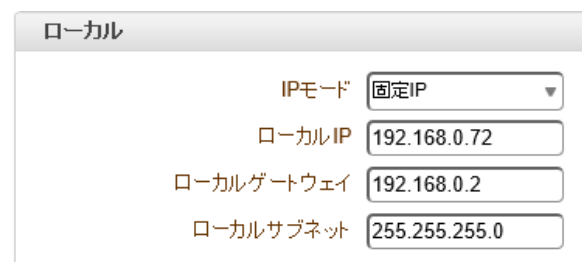
##### IP モード

固定 IP マニュアルで IP アドレスを設定します。

DHCP DHCP サーバーからアドレスを取得します

※固定 IP の場合は ローカル IP、ローカルゲートウェイ、サブネットマスクの設定をします。

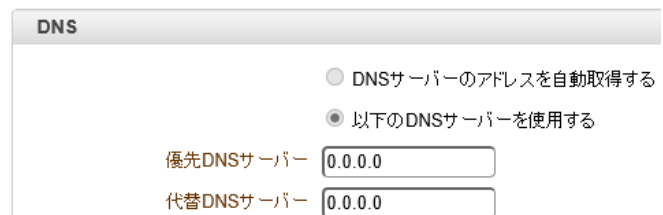
IP Mode が分からない場合 I ネットワーク担当者に問合せしてください。



#### 6.3.1.2 DNS

DNS サーバーの IP を設定します。

DHCP サーバーから取得する場合は DNS サーバーの自動取得を選択します。



### 6.3.1.3 IPv6

IPv6 環境で使用する場合に設定します。  
環境についてはネットワーク管理者に確認してください

### 6.3.1.4 ポート

#### 基本ポート

ポートはシステム間で接続するために必要なポート番号を指定します。接続するシステムはポート番号が同じでなければなりません。

(デフォルト: 2222)

#### HTTP ポート

HTTP 接続を行うためのポートを設定します。

(デフォルト: 80)

#### HTTPS ポート

SSL を用いた接続を行う場合に使用します。

#### RTSP ポート

ストリーミングサーバーを使用する時のポート。

(デフォルト: 554)

### 6.3.1.5 MTU Size

一回のデータ転送にて送信可能な IP データグラムの最大値を指定します。

Ethernet フレームが最大 1518byte なので、Ethernet ヘッダ ( 14byte ) と FCS ( 4byte ) を除く [ 1500byte ] が MTU サイズとなります。

### マルチキャスト IP(Multicast IP)

マルチキャストアドレスの設定可能な範囲は 224.0.1.0 から 238.255.255.255 までです。この設定は Decoder あるいは CMS がマルチキャストで接続を要求する場合映像データをマルチキャストに送ろうとする時使われるアドレスです。Encoder と Decoder あるいは Encoder と CMS の接続では Encoder に設定されたマルチキャストアドレスを使用してマルチキャスト送信をします。

### 6.3.2 Discovery

**UPNP** UPNP をサポートしているルーター等を使用している場合、ポートフォワードが自動的に行われます

#### Zeroconf

Zeroconf 環境で使用する場合に選択します。  
Windows Vista 以降の環境でネットワークを使いやすくする技術

#### WS Discovery

WS-Discovery は web services dynamic discovery の略。Windows とネットワーク機器との接続性を改善する技術



### 6.3.3 SNMP

Simple Network Management Protocol 機器をネットワーク経由で監視

SNMP Listen ポート デフォルトは 161

SNMP Trap Destination IP

SNMP Trap Destination Port デフォルトは 162

SNMP	
SNMP Listen ポート	<input type="text" value="161"/> (0, 161, 1025~65535)
SNMP Trap Destination IP	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
SNMP Trap Destination Port	<input type="text" value="162"/> (0, 162, 1025~65535)

### 6.3.4 DDNS

DDNS(Dynamic DNS) サーバーの登録を設定します、DDNS は次の二つの方式をサポートします。

**TrueDNS** : 弊社が提供する DDNS サーバーを使用する場合、DDNS 利用申込書に記入の上 FAX にて申し込みをしてください。

DDNS サービスは無料で利用出来ます。メンテナンス等により停止する事が有りますが連絡等はいりません。より安定した接続を希望される場合はプロバイダーの固定 IP サービスを利用してください。

**DynDNS** : フリー及び有償の DNS サービスです。詳しい内容は [www.dyndns.org](http://www.dyndns.org) で確認することができます。詳しい設定方法は付録を参照してください。

**Vdyn** :VDYN は Visionica (<http://visionica.com>) が提供する DDNS サービスです。

このサービスを使用するためにこれ以上の構成は必要とされない。

内部に登録されている MAC アドレスを使用しています。

ダイナミック DNS は、リアルタイムで、ドメインネームサーバに通知するためインターネットプロトコルスイートを使用して、ルータまたはコンピュータシステムなど、ネットワーク化されたデバイスの機能を提供する方法、プロトコル、またはネットワークサービスである(アドホック)その構成されたホスト名、アドレスまたは DNS に格納されている他の情報のアクティブな DNS 設定です。

#### — Check IP Disable

「IP チェックを無効にする」を選択した場合、自身の IP 確認をスキップする。

固定 IP モードでは、設定された IP が DDNS サーバに登録される。

DHCP モードでは、動的に割り当てられた IP を DDNS サーバに登録される。

通常、**Check IP Disable** は、ネットワーク内のパブリック IP アドレスを取得するために、オフにする必要があります確認してください。

### 6.3.5 IP Filtering

指定した IP アドレスからのみ配信します。

アドレスは 20 個まで指定できます。

アドレスは範囲指定で指定する事が可能です。

指定しても有効にしないと接続できません

**allow all** 全てを許可します。

**Deny all** リストに有る IP のみ許可します

IP Filtering Setup			
Basic Policy		Allow all	
Below IP list is not allowed to access.			
No.	From	To	有効
1	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="checkbox"/>
2	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="checkbox"/>
3	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="checkbox"/>



### 6.3.6 Eメール

イベント時などでEメールを使用するときに設定します。

**サーバーアドレス** :送信メールサーバーのアドレスを入力します。

**ポート**: メールサーバーのポートを指定します。

**送り側アドレス** : 送り主のメールアドレス。

**SMTP サーバー** : SMTP 認証が有る場合指定します

**ID** SMTP サーバーの ID

**Password** SMTP サーバーのパスワード

**SSL** SSL の有効/無効

**通知先メールアドレス** Eメールの送信先メールアドレスを指定 **メール送信動作チェック** をクリックするとテストメールが送信されます。

### 6.3.7 FTP

FTP サーバーにデータを送信するときに指定します。

**サーバーアドレス** FTP サーバーのアドレスを指定。

**ポート** FTP サーバーのポート番号

**ID** FTP サーバーのログイン ID

**Password** FTP サーバーのログインパスワード

**FTP Filename** 送信する画像のファイルネーム

**FTP ルートフォルダー** 画像を保存するフォルダー

FTP設定を確認

ボタンを押すとFTPサーバーの設定確認が出来ます。

### 6.3.8 Google Drive

#### 6.3.8.1 Google Drive Auth

PCにてGoogleDriveにログインしている状態で **Authorize** ボタンを押すとセキュリティの警告メッセージが出ます、許可するをクリックするとGoogleDriveリクエストの画面が開きます。

了承するをクリックします。



**Google Drive Auth**

Status: Authorized

Current Authorized ID: [redacted]@gmail.com

**Google Drive Upload**

Base Directory:

Email warning enable when drive storage full

Upload Video: プライマリビデオ

フレーム数:  (1 ~ 6)

Capture Interval: Continuous

- Base Directory** Google Drive のフォルダーを指定します。
- Upload Video** 録画する画像を選択します
- フレーム数** JPEG 時は録画フレーム数を選択します
- Capture Interval** JPEG 時は録画間隔を指定します。

### 6.3.9 SSL

SSL による暗号化をする時に指定します。  
 設定内容はネットワーク管理者に確認してください。  
 SSL を ON にすると SSL 設定項目が表示されます

**SSL**

SSL Enable: On

User ID:

Password:

VPN IP address:

VPN port:

Crypto enable: Off

## 6.4 イベント

### 6.4.1 Notification

イベント設定では各種イベントが発生した場合の動作と関連した項目の設定をします。  
 ローカル設定は自分のシステムで該当のイベントが発生した時どんな動作をするかを設定して リモート設定は繋がれた遠隔地システムでイベント発生の時どんな動作をするかを設定します。

イベント発生の時設定可能な動作は下表の通りです。

項目	機能
ビーブ (Beep)	システム内部のブザーで音を出します。
警報 1/警報 2 (Alarm1/Alarm2)	システムのアラーム端子に繋がれた機器を動作させます。
E メール (E-mail)	指定されたアドレスに、イベント発生内容を記して E メールを送ります。この時映像を avi ファイルで添付することが出来ます。
FTP	指定された FTP サーバーにイベント発生時の映像をアップロードします。
プリセット	PTZ カメラ等を使用している場合カメラの方向等をプリセット番号を指定します。

## センサー1～4 (Sensor1～Sensor4)

該当のセンサーが感知した時行う動作を設定します。複数動作を重複選択できます。

## ビデオロス (On Video Loss)

ビデオロス時の動作を設定します。複数動作を重複選択できます。

ビデオロス(Video Loss)はビデオ入力端子にビデオ信号が入って来ない状態を言います。

## 回線切断 (On Disconnect)

遠隔地システムとの接続が切れた時の動作を設定します。多くの動作を重複選択できます。

ローカル							
センサー 1	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 2	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 3	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 4	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
ビデオロス	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
動作検知	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset

リモート							
センサー 1	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 2	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 3	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset
センサー 4	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset

回線切断							
回線切断	ピーブ	警報1	警報2	E-メール	FTP	プリセット	No Preset

## 6.4.2 動体検知 (On Motion)

ビデオ入力で動体検出時の動作を設定します。

動作感知使用を OFF/ Region-based を選択します。

編集を`ON`にすると領域設定の画面が表示されます。領域を選択する場合はモードを指定して画面の格子をクリックします、領域を解除する場合は消去を選択して格子をクリックします。適用でエリア設定が出来ます。

Region 1～Region 8 8つのエリアを指定できます。解りやすく色分けしています

## 感度(Sensitivity)

動きを検出してイベントを発生させるための感度を設定します。0-10 まで設定出来、0 は一番感度が良い状態です。

動作検知			
Channel #1	Channel #2	Channel #3	Channel #4
動作検知使用		Off <input type="radio"/> Region-based <input checked="" type="radio"/>	
感度(0:最高感度)		5	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>Region 1</li> <li>Region 2</li> <li>Region 3</li> <li>Region 4</li> <li>Region 5</li> <li>Region 6</li> <li>Region 7</li> <li><input checked="" type="radio"/> Region 8</li> </ul>
編集 Off <input type="radio"/> 設定 <input checked="" type="radio"/> 消去 <input type="radio"/>			適用

### 6.4.3 センサー

#### センサータイプ

OFF	使用しない
N/O	ノーマルオープン
N/C	ノーマルクローズ

センサータイプ			
センサー 1	Off	<input type="radio"/> N/O	<input type="radio"/> N/C
センサー 2	Off	<input type="radio"/> N/O	<input type="radio"/> N/C
センサー 3	Off	<input type="radio"/> N/O	<input type="radio"/> N/C
センサー 4	Off	<input type="radio"/> N/O	<input type="radio"/> N/C

#### Sensor Schedule

センサーは個別にスケジュールが可能です。

曜日別、時間別にセンサーの有効時間を指定できます。

Sensor Schedule																								
Select <input type="radio"/> Sensor Disable <input checked="" type="radio"/> Sensor Enable																								
Sensor 1																								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

**Sensor Disable**      センサー無効

**Sensor Enable**      センサー有効

センサー有効の場合有効時間帯を指定します。

初期値では全ての曜日で 24 時間有効になっています

### 6.4.4 警報

警報出力の設定を行います

**ビープ 継続時間**      ブザーの持続時間指定

**警報 1~4 継続時間**      警報出力の持続時間

**同期**      センサーの働いている時間出力されます

**1 秒~60 秒**      センサー動作後指定時間持続して出力  
されます

**連続**      センサーが動作後出力され続きます。

連続を選択した場合は使用者がメニューで同期に設定をするまで動作が続きます。

警報	
ビープ 継続時間	<input type="text" value="同期"/>
警報1 継続時間	<input type="text" value="同期"/>
警報2 継続時間	<input type="text" value="同期"/>
警報3 継続時間	<input type="text" value="同期"/>
警報4 継続時間	<input type="text" value="同期"/>

## 6.5 録画

録画は USB ポートに録画媒体が接続されている場合のみ機能します。

USB メモリー媒体に画像の録画が可能です。

USB-HDD かメモリースティックを使用できます。

少なくとも 1GB 以上が推薦されます。

EXT3 か FAT32 ファイルシステムのどちらかを使用できます。

LinuxPC では EXT3 か FAT32 ファイルシステムのディスクを読むことができます。

Windows PC では FAT32 のファイルシステムのみ読むことができます。

True Manager を使用したフォーマットは FAT32 としてフォーマットされます。

Windows PC で、FAT32 でディスクをフォーマットする場合は WindowsXP 以前の PC になります。

Windows7、Windows8 でフォーマットする場合は専用のフォーマットツールが必要です。

### 6.5.1 全般

録画の基本機能を設定します。

録画を On にすると設定画面が表示されます。

ディスクが接続されていなくても設定は可能です。ディスクがフルの状態でも設定は可能です。

上書きが OFF でディスク空き容量が 100Mbyte 以下の場合録画は停止します。

上書きが ON の場合ディスク空き容量が 100Mbyte 以下になった場合に古い画像は削除されます。

正常な録画を行うためにはディスクの空き容量は 300MByte 以上必要です。

AVI ファイルの最大のファイルサイズは 200Mbyte です。録画は 10 分単位でのファイルになります。10 分より前に 200Mbyte になった場合は、ファイルは分割されます。

**最大保存容量** 何時の AVI ファイルの最大値  
**Max File Length** 1 つのファイルでの最大時間  
 ファイルはこの時間で分割されます

基本設定	
録画をする	Off <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/>
上書き	Off <input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/>
最大保存容量	100M bytes ▼
Max File Length	10 Minutes ▼

### 6.5.2 Schedule

#### イベントタイプ 1~4

**センサー-1** センサー-1 が動作した時録画します

**センサー-2** センサー-2 が動作した時録画します

**モーションデテクション** 動体検地が動作した時録画します

**ビデオロス** 映像信号が無くなった時イベント前録画時間で録画します

**イベント前録画時間** イベント発生前の録画時間を指定します 1~5 秒

**イベント後録画時間** イベント発生後の録画時間を指定します 1~5 秒

イベントタイプ				
イベントタイプ 1	センサー-1	センサー-2	モーションデテクション(動作検知)	ビデオロス
イベントタイプ 2	センサー-1	センサー-2	モーションデテクション(動作検知)	ビデオロス
イベントタイプ 3	センサー-1	センサー-2	モーションデテクション(動作検知)	ビデオロス
イベントタイプ 4	センサー-1	センサー-2	モーションデテクション(動作検知)	ビデオロス
イベント前録画時間	使用しない ▼			
イベント後録画時間	使用しない ▼			

#### スケジュール表

録画のスケジュールを指定します。

録画スケジュールはチャンネル別に指定します。

**録画停止** 録画を行わない曜日、時間帯を指定します。

**連続録画** 録画をセンサー等に関係なく録画します。

**切断** クライアントの接続が切れた時録画します

**イベントタイプ 1~4** イベントタイプで指定した条件で録画します。

**ビデオ選択** 録画する画像を選択します。

スケジュール表

選択

イベントタイプ2

Channel #1 Channel #2 Channel #3 Channel #4

ビデオ選択 プライマリビデオ

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

### 6.5.3 ディスクインフォメーション

USB で接続されている録画媒体の情報を表示します。

ディスクインフォメーション

ディスクインフォメーション USB Disk available - (FAT32)

ディスク容量 232.88 G

空き容量 232.83 G

recorded 0%

free space 100%

**ディスクインフォメーション** 接続されているディスクの情報

**ディスク容量** ディスクの全体容量

**空き容量** ディスクの空き容量

ディスクの内容が正しく表示されない場合  ボタンで再確認してください。

それでも正しく表示されない場合はディスクの接続及びフォーマットを確認してください。

使用可能なフォーマットは FAT32 又は ext3 フォーマットです。



ディスクインフォメーション ディスクの状態を表示します。

Disk status	Description
Disk error detected	ディスクが正しく認識されていません
No disk	ディスクが接続されていません
Searching Disk information	ディスクのチェック中です
Mounting and Recovering Disk...	ディスクに障害があるため回復処理中です。 数分必要です
Disk format needed	ディスクは接続されていますがファイルシステムが未知である か破損しています
Unknown disk type detected	
USB Disk available - (Format is recommended)	ディスクは使用可能ですがフォーマットをお勧めいたします
USB Disk available	ディスクは使用可能です
Disk formatting - Start	ディスクのフォーマットを行っています。 フォーマット中はシステムを停止させてはいけません。
Disk formatting - Progressing...	
Disk formatting - Writing inode tables 63/619	
Disk formatting - Creating journal...	
Disk formatting - Writing Super blocks...	
Disk format done, please wait for reboot.	
Disk removed or in abnormal state	使用中にディスクが切り離されました、又はディスクに以上が あります。ディスクが正常に接続されているのにこの表示が出 た場合はフォーマットをお勧めいたします。

**ディスク容量** 接続されているディスクの容量

**空き容量** 接続されているディスクの空き容量

## 6.5.4 検索ページ

録画データの検索を行います。



録画データがハードディスクに有る時は日付が表示されます。

多くの日付が有る場合は ◀ ◻ (1) ▶ ▶▶ ボタンで日付のページを変更します。

日付部分をクリックすると録画データの日時が表示されます。

検索ページ

Root >> 2013\_09\_17

年月日	スタート時	エンド時刻	File Name	Size
<input type="checkbox"/>			130917_142232_142356_ch1.avi	10.02M
<input type="checkbox"/>			130917_142215_142337_ch2.avi	10.06M
<input type="checkbox"/>			130917_142158_142319_ch3.avi	10.04M
<input type="checkbox"/>			130917_142150_142311_ch4.avi	10.06M
<input type="checkbox"/>			130917_142105_142232_ch1.avi	10.02M
<input type="checkbox"/>			130917_142054_142215_ch2.avi	10.01M
<input type="checkbox"/>			130917_142036_142158_ch3.avi	10.07M

Delete

チャンネル データサイズ

データ部分を右クリックすると ファイルを開く(O) 保存(S) キャンセル(C) の表示が出ます。

ファイルを開くを選択するとダウンロードが開始されダウンロードが終了すると既定のプログラムで画像が表示されます。ダウンロードには時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

保存をクリックするとダウンロードが開始されます。

ダウンロードは Windows のダウンロードフォルダーになります。

## 6.6 Device

シリアルポートの状態表示と各種設定を行います

### 6.6.1 Information

シリアルポートの状態表示

COM1 及び COM2 の送受信レートを表示します。

### 6.6.2 シリアル

シリアルポートの設定を行います

#### COM1 (RS-232C ポート)

RS-232C ポートの設定を行います。

プロトコル RS-232C 固定  
 ビットレート 2400～115,200 まで設定が可能  
 データビット データのビット長 5～8 ビット  
 パリティ 無し、偶数、奇数を選択  
 ストップビット ストップビット 1 又は 2 ビット

#### COM2 (RS-485 又は RS-422 ポート)

RS-485 又は RS-422 ポートの設定を行います。

プロトコル RS-485 又は RS-422 を選択  
 ビットレート 2400～115,200 まで設定が可能  
 データビット データのビット長 5～8 ビット  
 パリティ 無し、偶数、奇数を選択  
 ストップビット ストップビット 1 又は 2 ビット

485 Terminating Resistors RS-485 を使用した場合終端抵抗の ON/OFF を選択します。

Device Information			
COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	
COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	

COM1 (RS-232Cポート)	
プロトコル	RS-232
ビットレート	9600 bps
データビット	8 ビット
パリティ	無し
ストップビット	1 ビット

COM2 (RS-422C/485ポート)	
プロトコル	RS-485
ビットレート	2400 bps
データビット	8 ビット
パリティ	無し
ストップビット	1 ビット
485 Terminating Resistors	Off



## 6.7 PTZ

PTZ カメラを使用する場合の各種設定を行います。

### 6.7.1 全般

PTZ カメラのプロトコルタイプとカメラの ID 及び接続するポートを指定します。

**PTZ タイプ** カメラのタイプを選択します

50 種以上のカメラに対応しています。

**PTZ ID** カメラの RS-485 ID を指定します。

**PTZ ポート** 使用するポートを選択します

### 6.7.2 プリセット

プリセット可能なカメラの PTZ プリセットポジションの設定を行います。

次のような手順で PTZ Preset ポジションを設定します。

- ① プリセットするカメラを選択します
- ② 画面を見ながら PTZ 制御ボタンを利用してカメラを目的の位置に移動させます。
- ③ 指定するプリセット番号を選択します。
- ④ ラベル設定に名称を入力します。
- ⑤ 「リスト保存」ボタンを押します。

プリセットは 128 箇所まで保存可能です

#### 設定位置へ移動

プリセット選択で希望のポジションを選択した後「設定位置へ移動」ボタンを押せばカメラが保存されたプリセット位置に移動します

## 6.8 ユーザー

ユーザー設定では、ユーザーとユーザー権限を設定することができます。ユーザー関連設定は admin 権限に限ってだけ可能です。ユーザーは 15 人まで追加登録が可能(デフォルトの Admin 権限含め 16 人)でそれぞれのユーザーは次の 4 種の中から一つを選択することができます。

権限区分	動作可能範囲	制約事項
Admin	すべての動作が可能	User id = admin
Manager	ユーザー設定を除いたすべての動作が可能	ユーザー設定は不可
User	ライブモニタリングとカメラ制御	SETUP 画面使用不可
Guest	ライブモニタリング	SETUP 画面、カメラ制御使用不可

### 6.8.1 ユーザーの登録

新しいユーザーを登録しようとする場合

追加ボタンを押せば次のようなページが現われます。

希望のユーザーID とパスワードを入力し、権限レベルを登録すれば新しいユーザーが登録されます。ユーザーID とパスワードは最大15名まで登録可能で英文大小文字と数字のみを使うことができます。パスワードは忘れないようメモをするなど注意してください。



### ユーザーの削除

削除しようとするユーザーをチェックした後に削除ボタンを押せばユーザーが削除されます。

### ユーザーのパスワード変更

パスワードを変更しようとするユーザーを選択した後パスワード変更ボタンを押すと、パスワードを変更出来ます。新しいパスワードを入力して変更ボタンを押せばパスワードが修正されます。



### ユーザーの権限レベル変更

権限レベルを変更しようとするユーザーを選択した後`ユーザー権限変更`ボタンを押せば次のようなページが現われます。

権限レベルを設定して`変更` (modify) ボタンを押せば、修正されます。admin の場合は権限レベルを修正することができません。




### 6.8.2 ログインポリシー(Login Policy)

`ログインを省略` (Skip Login) メニューはログインをしないですぐ使おうとする場合に便利に使うことができるメニューです。

`ログイン省略`を`有効`に設定すればログインなしにすべての接続が可能です、この場合はログインスキップ用のユーザー権限レベルで設定した権限で動作します。

**認証** RTSP プロトコルを使用している場合に認証の ON/OFF を設定します。


## 6.9 システム

システムの各種情報表示と設定を行います。

### 6.9.1 Information

現在の機種情報

モデル	使用しているハードウェアモデル
バージョン	ファームウェアのバージョン
MAC アドレス	ネットワークの MAC アドレス
現在のアドレス	現在のネットワーク IP アドレス
現在のドメイン	ドメイン名



## 6.9.2 Maintenance

ハードウェアのアップデート、設定情報のバックアップ、システム再起動及び設定情報の工場出荷時への初期化を行います。

### ファームウェア version

Firmware バージョンを表示します。  
Firmware のアップデートが可能です。  
Firmware のアップデートは参照でファームウェアのあるフォルダのファームウェアを選択します。

**ファームアップ** ボタンを押すとアップデートが開始されます。

終了するまでには 10 分程度必要です。

The screenshot shows a web interface with the following sections:

- ファームウェア**: Displays 'バージョン V3.308R01\_T100' and an 'アップグレード' button with a '参照...' link. A 'ファームアップ' button is also present.
- Config Backup&Restore**: Contains 'Backup' and 'Restore' buttons, each with a '参照...' link. 'Config Backup' and 'Config Restore' buttons are on the right.
- リポート**: Features a 'リポート' button.
- 工場出荷時設定**: Includes a '工場出荷時設定' button and a 'Factory Reset except network settings' button at the bottom.

### Config Backup & Restore

設定内容の保存及び復帰

Config Backup ボタンを押すとシステム設定情報の保存画面が表示されます。

Config Restore は設定情報ファイルの有るフォルダから設定ファイルを参照ボタンで選んでから Config Restore ボタンを押します。

### リポート(Reboot Server)

ビデオサーバーシステムを再起動します。

**工場出荷時設定** 工場出荷状態に戻します。

**Factory Reset except network settings**

はネットワーク設定以外を初期化します。

## 6.9.3 時刻

The '時刻' page includes the following fields and buttons:

- システム起動時刻: 2013/09/15 6:59:52
- 現在時刻: 2013/09/15 8:11:25
- Set Time: 2013/09/15 8:11:19 (with dropdown arrows for each part)
- 現在時刻設定: Button
- タイムフォーマット: YYY/MM/DD hh:mm:ss (dropdown)
- タイムゾーン: (GMT-12:00) International Date Line West (dropdown)
- NTPサーバー自動同期
- NTPサーバー名: pool.ntp.org
- 適用: Button

システム起動時刻 機器の起動日時を示しています。

現在時刻 内部時計の日時を表示しています。

Set Time 内部時計の修正をします

日付は年月日の部分をクリックしカレンダーを表示します、  
該当する年月日を選択してください

時刻は上下キーで選択します

**現在時刻設定** ボタンでセットされます

タイムフォーマット 日時の表示方法を選択します

タイムゾーン 協定世界時 GMT との時差を設定します。  
日本は-9 時間です。

NTP サーバー名 NTP サーバーと時刻の同期を行う時に使用します。

The calendar shows the date 2013/09/15 and time 15:12:42. A calendar grid for September 2013 is displayed, with the 15th highlighted. A time selection interface is also visible, showing the current time 15:12:42.

The dropdown menu shows three options for time format: YYY/MM/DD hh:mm:ss (selected), DD/MM/YYYY hh:mm:ss, and MM/DD/YYYY hh:mm:ss.

NTP サーバー名は希望のサーバーを入力します。

適用

をクリックすると同期を開始します。

#### 6.9.4 システム ID

システムの名称と表示方法の設定を行います。

**システム ID** 愛数字 15 文字、漢字は 5 文字までです。

**情報表示** 表示の ON/OFF 及び表示位置の設定

画面表示時に合成表示します、実際の画像には含まれていません。

**システム ID** ON/OFF

**時刻** ON/OFF

**位置** 画面の表示位置 下部/上部

**OSD 表示** 表示の ON/OFF 及び表示位置の設定

画像にインポーズされます、実際の画像に含まれます。

**システム ID** ON/OFF

**時刻** ON/OFF

**位置** 画面の表示位置 下部/上部

**フォントサイズ** 12×12、20×20、40×40

**言語** 表示言語を指定します。

言語

言語 日本語

## 7. True Manager の利用

### 7.1 True Manager プログラム

True Manager は LAN-NTSC264A 4CH (以下サーバーという)の基本的な設定、診断及び F/W アップグレードを行うプログラムです。True Manager を利用して次のような作業ができます。

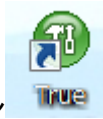
- LAN 上でサーバーシステムを検索及び IP アドレスの変更
- システム動作状態表示 : エンコード/デコード, 送受信状態, センサーなどの状態表示
- 各種診断機能 : PING, ネットワーク損失率, オーディオ出力機能, ループバックを利用したシリアルポート確認等
- F/W アップグレード、サーバーに接続された USB デバイスのフォーマット

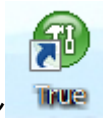
### 7.2 True Manager のインストール

付属 CD の True Manager インストールを実行します。

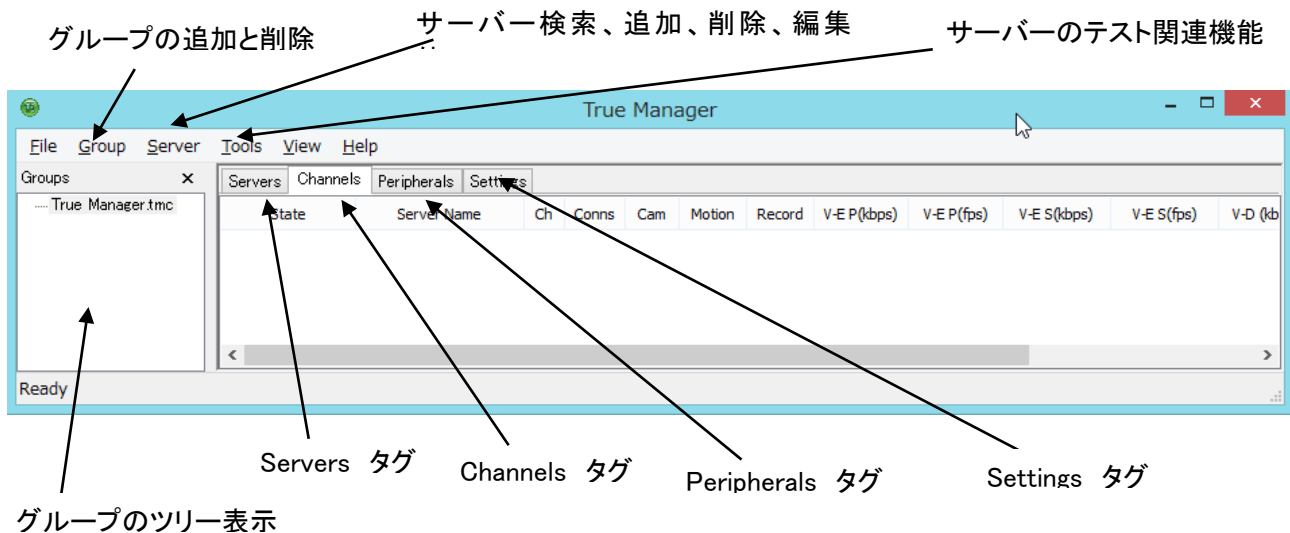
ハードディスクに True Manager のフォルダーを作成し CD の True Manager をハードディスクの作成したフォルダーにコピーします。

## 7.2.1 True Manager の起動



コピーした True Manager のアイコン  をダブルクリックします

True Manager の画面が開きます。



## 7.3 サーバーの登録と削除

### 7.3.1 IP Discovery を使用してサーバーを登録

IP Discovery 機能を利用して、True Manager を使用する PC と同じ LAN 上に有る LAN-NTSC264A 4CH システムを検索する事と IP アドレスを容易に変更することができます。

Server メニューで IP Discovery を選択すると、IPDiscovery ダイアログが現われて同じ LAN 上に有る LAN-NTSC264A 4CH システムが表示されます。サブネット(Subnet)が他の IP アドレスのシステムも全て表示されます。

**Discover** ボタンをクリックするとサーバーが検出されます。

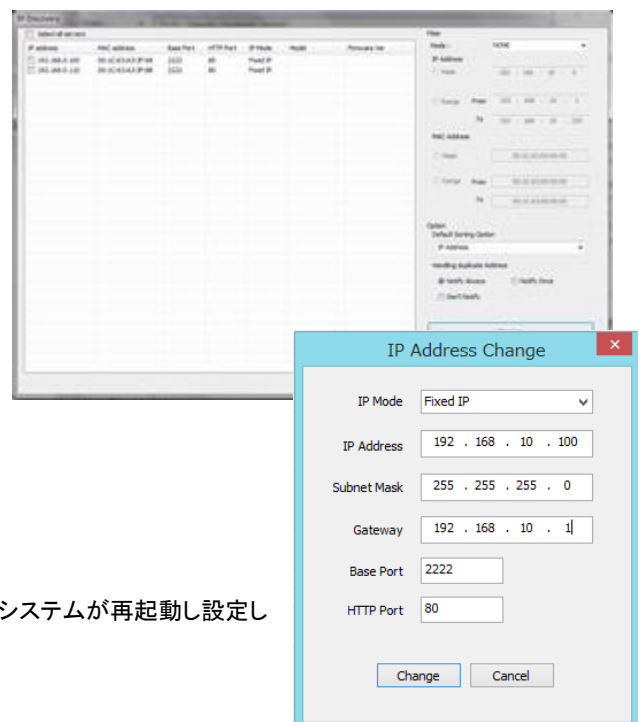
サーバーに対する接続情報が 表示されます。

IP アドレスの変更は表示されているサーバーをクリックするとグループの背景になります。

**IP Change**

ボタンをクリックします IP アドレスを変更する

事が出来る下のようなダイアログが現われます。



#### 7.3.1.1 IP Mode

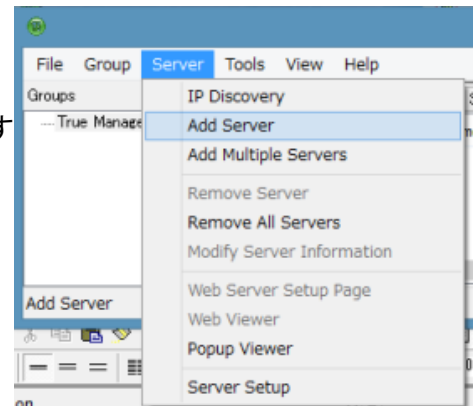
IP アドレスは Fixed IP (固定 IP)、DHCP、PPPoE での設定が可能です。

モードを選択して各種設定項目を設定してから **Change** ボタンを押すシステムが再起動し設定した項目が反映されます。

## サーバーの登録

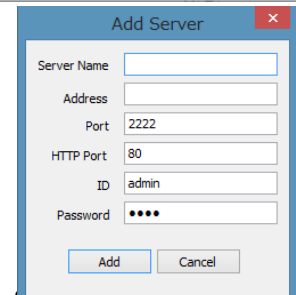
True Manager を利用してサーバーを管理するためには先にサーバーを登録しなければなりません。次のような方法で True Manager にサーバーを登録することができます。

- ① Server メニューで Add Server を選択します。
- ② Add Server ダイアログで、管理するサーバーの接続情報を入力します  
サーバーが DDNS サーバーに登録されている場合は IP アドレスの代わりにドメイン名を使うこともできます。  
サーバーの IP アドレスが分からない場合には IP Discovery 機能を利用して同じ LAN 上にあるサーバーを検索することもできます (5-3-1 IP Discovery 参照)



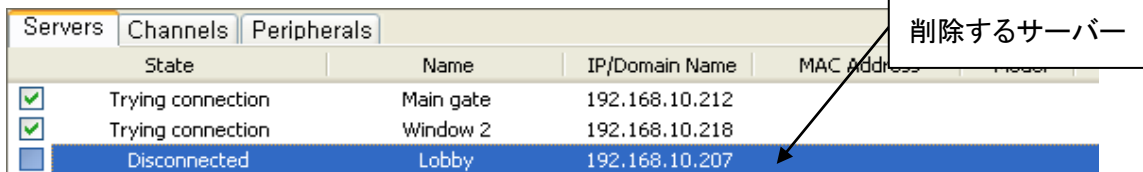
Add ボタンを押します。

※ True Manager を通じてサーバーのすべての機能を使うためには 'Manager' レベルのユーザー権限以上で接続をしなければなりません。  
(ユーザー権限の詳細はユーザー設定の項目を参照してください)



## サーバーの削除

Servers タップで、削除するサーバーをクリックして青色に表示されるようにした後 [Server メニューで「Remove Server」]を選択して該当のサーバーを削除することができます。



## 7.4 サーバー接続情報変更

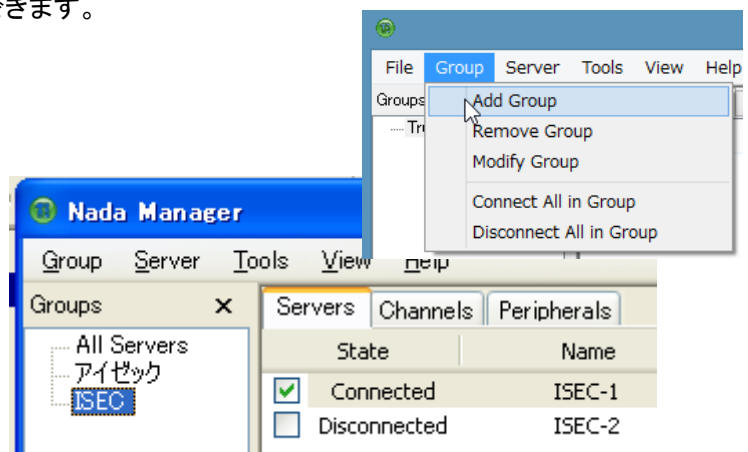
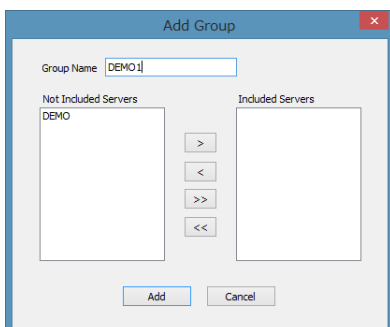
Server メニューで Modify Server Info を選択して該当のサーバーに接続するための情報を変更することができます。

### サーバーのグルーピング

管理しようとするサーバーの数が多い場合いくつかのグループに分けて管理することができます。Group メニューの Add Group と Remove Group を利用してサーバーグループを生成や削除ができます。Modify Group を利用して特定のサーバーグループにサーバーを追加や削除ができます。


Group メニューで Add Group を選択します。

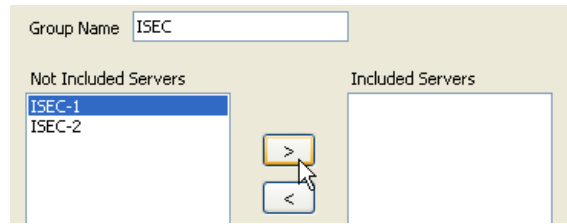
Group Name に希望するグループ名を入力します。





Not Included Servers からグループに追加するサーバーを選択します。

 ボタンを押すと Included Servers に追加されます。  
Add ボタンを押します。

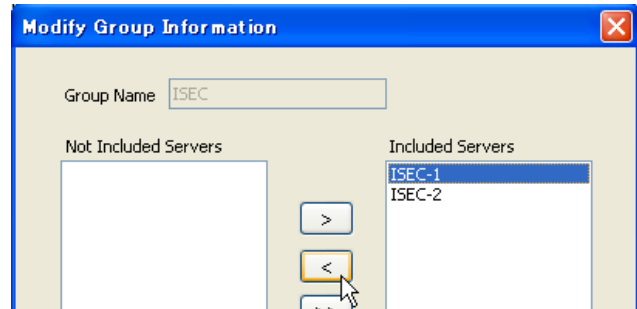


## グループの編集

Modify Group を選択します。  
グループのサーバーを選択し左矢印でグループから削除が可能です。

## グループの削除

グループツリーから削除するグループを選択  
Group メニューから Remove Group を選択し  
削除します。



## 7.5 サーバー接続管理

### サーバーに接続する

Servers (または Channels/Peripheral) タブで、接続しようとするサーバーの一番左にあるチェックボックスをチェックすると接続を試みます。サーバーが動作中でサーバーへのネットワークが正常ならすぐ接続され、state が Connected になります。

State	Name	IP/Domain Name	MAC Address	Model	Type	Firmware	Start Up Time
<input checked="" type="checkbox"/>	東京	192.168.0.60	00:1C:63:A6:11:0A	Truen TCS-2000	Encoder	Enc:V1.103C-006	2011/07/21 13:19:44
<input checked="" type="checkbox"/>	大阪	192.168.0.110	00:1C:63:A7:03:E6	Truen TCS-300	Decoder	Dec:V1.103C-006	2011/07/21 18:14:38
<input type="checkbox"/>	福岡	192.168.0.120					

チェックボックスにチェックを入れる

該当のサーバーが動作中ではない又はサーバーへのネットワークに問題があって接続出来ない状態の時は state に Trying connection と表示されます。サーバーまたはネットワークが復旧すれば自動で接続されます。True Manager はチェックされたサーバーに対して定期的に接続をやり直します。

### サーバーとの接続を切る

チェックボックスを解除すればサーバーとの接続が切れて Disconnected 状態になります。

## 7.6 サーバー状態モニタリング

### 7.6.1 Servers タブ サーバー 一般情報

Servers タブで、接続されたサーバーに対する一般的な情報 MAC アドレス・製品モデル・システムモード・F/W バージョン・起動した時間等を確認することができます。

State	Name	IP/Domain Name	MAC Address	Model	Type	Firmware	Start Up Time
<input checked="" type="checkbox"/>	東京	192.168.0.60	00:1C:63:A6:11:0A	Truen TCS-2000	Encoder	Enc:V1.103C-006	2011/07/21 13:19:44
<input checked="" type="checkbox"/>	大阪	192.168.0.110	00:1C:63:A7:03:E6	Truen TCS-300	Decoder	Dec:V1.103C-006	2011/07/21 18:14:38
<input type="checkbox"/>	福岡	192.168.0.120					

接続された状態・State に Connected 状態のサーバー情報が表示されます。

項目	内容
IP/Domain Name	接続先の IP アドレス又はドメイン名
MAC Address	接続されている LAN-NTSC シリーズの MAC アドレス
Model	接続されている LAN-NTSC シリーズのファームウェア名称
Type	エンコーダー、デコーダーのモード
Firmware	システムのファームウェアバージョン
Start Up Time	電源を投入した日時

### 7.6.2 Channels タブ - ビデオ及びオーディオチャンネルの状態モニタリング

Channels タブでサーバーのビデオ及びオーディオチャンネルの動作状態をモニタリングできます。

State	Server Name	Ch	Conns	Cam	Motion	Record	V-E P(kbps)	V-E P(fps)	V-E S(kbps)	V-E S(fps)	V-D (kbps)	V-D (fps)	A-E (kbps)	A-D (kbps)
<input checked="" type="checkbox"/> Connected	東京	1	2	OK	Motion		1831	8	0	0	0	0	60	0
<input checked="" type="checkbox"/> Connected	大阪	1	2	Loss			0	0	0	0	0	0	67	0
<input type="checkbox"/> Disconnected	福岡													

項目	内容
Ch	チャンネル番号
Conns	サーバーに接続されたクライアントの数 (True Manager 含む)
Cam	ビデオ信号入力状態
Motion	モーション検出状態
Record	USB デバイスへの録画状態
V-E P (kbps)	ビデオ エンコード ビットレート
V-E P (fps)	ビデオ エンコード フレームレート
V-E S (kbps)	スレーブ ビデオ エンコード ビットレート
V-E S (fps)	スレーブ ビデオ エンコード フレームレート
V-D (kbps)	ビデオ デコーディング ビットレート
V-D (fps)	ビデオ デコーディング フレームレート
A-E (kbps)	オーディオ エンコード ビットレート
A-D (kbps)	オーディオ デコーディング ビットレート

システムモードによって該当事項が無い項目は値 0 と表示されます。例えばシステムモードが Encoder なら V-D(kbps)と V-D(fps)は常に 0 で表示されます。

### 7.6.3 Peripherals タブ シリアルポート、センサー及びアラームポート状態モニタリング

Peripherals タブでサーバーのシリアル・センサー・アラームポートなどの動作状態を確認することができます。

State	Server Name	COM1-TX	COM1-RX	COM2-TX	COM2-RX	Sensor1	Sensor2	Buzzer	Relay1	Relay2
<input checked="" type="checkbox"/> Connected	東京	0	0	0	0	Off	Off	Off	Off	Off
<input checked="" type="checkbox"/> Connected	大阪	0	0	0	0	Off	Off	Off	Off	Off
<input type="checkbox"/> Disconnected	福岡									



項目	内容
COM1-TX COM1-RX	RS-232C ポートのデータ送受信状態 - TX: サーバー -> 外部シリアル機器 - RX: 外部シリアル機器 -> サーバー
COM2-TX COM2-RX	RS-422/485 ポートのデータ送受信状態 - TX: サーバー -> 外部シリアル機器 - RX: 外部シリアル機器 -> サーバー
Sensor1 ・ Sensor2	センサーポートの状態
Buzzer	ブザーの状態
Relay1 ・ Relay2	リレーの状態

#### 7.6.4 Settings タグ 接続されている LAN-NTSC シリーズの設定内容の表示

Servers		Channels	Peripherals	Settings																		
State	Name	Mode	Preview	Input Format	Resolution	Frame	Preference	Quality	Bitrate	IF-Interval	Use Dual	D-Algorithm	Resolution(s)	Frame(s)	Preference(s)	Quality(s)	Bitrate(s)	IF-Interval(s)	A-Algorithm	A-Mode	A-Gain	
<input checked="" type="checkbox"/>	Connected	東京	Encoder	On	HDMI 720p60	1280x720	10	Quality	Very fine	-	30	Off	H.264	720x480	30	Bitrate	-	1024	30	G.711	Tx & Rx	25
<input checked="" type="checkbox"/>	Connected	大阪	Encoder	On	Composite NTSC	720x480	30	Bitrate	-	3000	50	Off	H.264	720x480	30	Bitrate	-	1024	30	G.711	Tx & Rx	25
<input type="checkbox"/>	Disconnected	福岡																				

項目	内容
Mode	エンコーダー、デコーダーのモード種別
Preview	プレビューの ON/OFF
Input Format	入力信号の種別 ハイビジョンモデルの場合 SDI
Resolution	入力信号の解像度
Frame	圧縮フレームレート
Preference	圧縮の優先度
Quality	画質優先の場合の画質設定
Bitrate	ビットレート優先の場合のビットレート
IF-Interval	Iフレームに対するPフレーム数
Use Dual	デュアルモードエンコードの有無
D-Algorithm	デュアルモードエンコードの圧縮フォーマット
Resolution(s)	解像度
Frame(s)	フレームレート
Quality(s)	画質優先の場合の画質設定
Bitrate(s)	ビットレート優先の場合のビットレート
IF-Interval(s)	Iフレームに対するPフレーム数
A-Algorithm	オーディオフォーマット
A-Mode	オーディオの送受信モード
A-Gain	オーディオゲイン

## 7.7 ネットワーク及びシステム診断とアップデート

LAN-NTSC264A 4CH システム間または LAN-NTSC264A 4CH と VMS(Central Monitoring System) など PC クライアント間の、接続が出来ない場合や映像送信が不安定等の場合に、その原因を把握する為の診断機能を提供します。

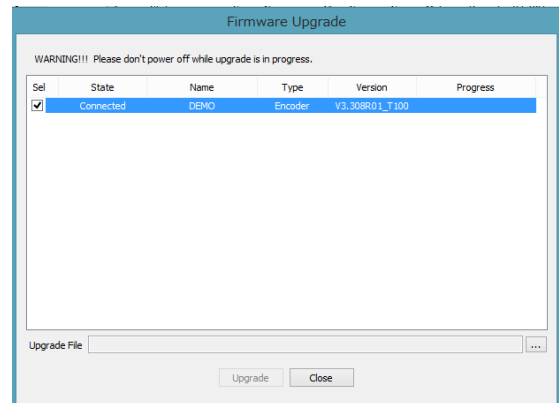
### 7.7.1.1 UPGRADE

画像サーバーのファームウェアをアップグレードします。

Tool タグの Upgrade を選択します。

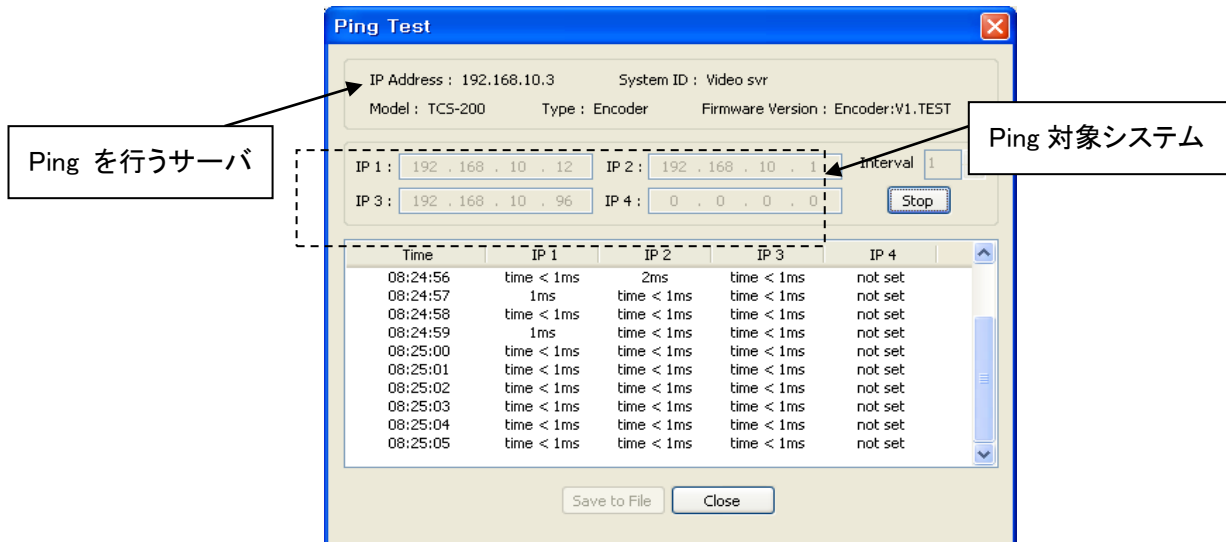
アップグレードするサーバーを選択します。

Upgrade



### Ping テスト

接続されたサーバーを選択した後 Tools メニューで Ping Test を選択すればダイアログが表示されます。

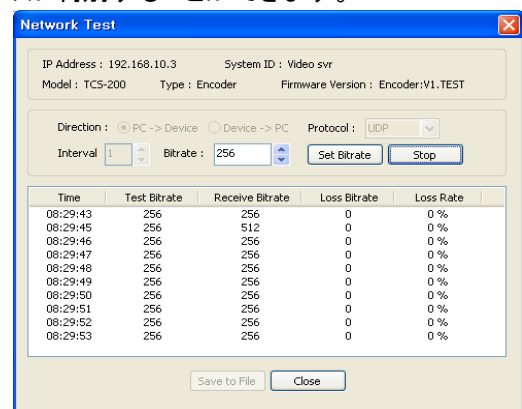


Ping テストはサーバーから他のシステムへのネットワークに基本的な問題が無いかが確認するのに有用です。一度に最大 4 個までのシステムを登録して同時に Ping テストをすることで Encoder と Decoder 間または Encoder と VMS 間のネットワークを構成する経路のどの部分に問題があるのか判別することができます。

### Network テスト

接続されたサーバーを選択した後 Tools メニューで

Network Test を選択すればネットワーク状態を診断するダイアログが表示されます。

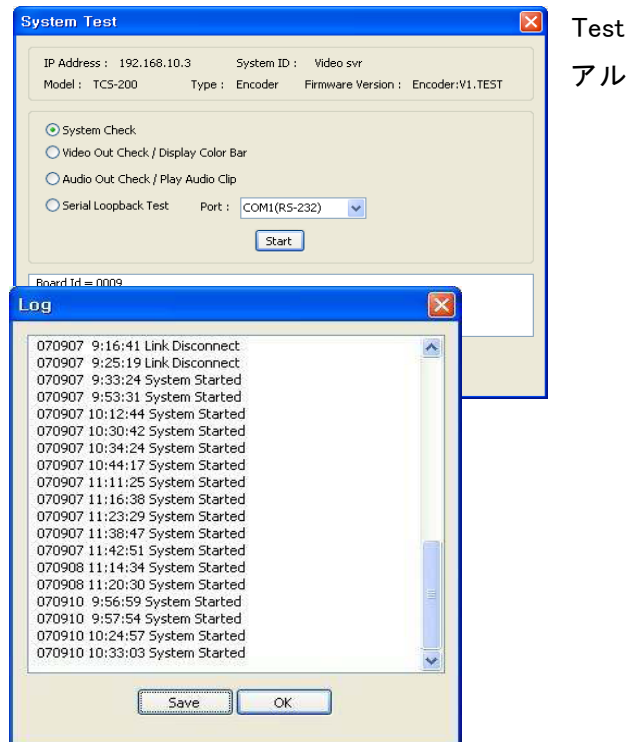


Network テスト機能を利用して特定サーバーと True Manager を使用する PC 間に決まったビットレートのテストデータを送信させることでネットワークの有効帯域幅及び損失率を測定することができます。このような機能は映像が設定した帯域で送信されない場合、その原因がネットワークにあるか診断するのに有用です。プロトコルを TCP に設定す

れば有効帯域幅を測定することができ、UDP に設定すればネットワークに損失があるか測定することができます。

## System テスト

接続されたサーバーを選択した後 Tools メニューで System を選択すると、システムのビデオ/オーディオ出力ポート、シリアルポートの正常可否を診断するダイアログが表示されます。



## サーバー log 表示

接続されたサーバーを選択した後 Tools メニューで Log を選択すると、サーバーに残っている log を確認することができます。

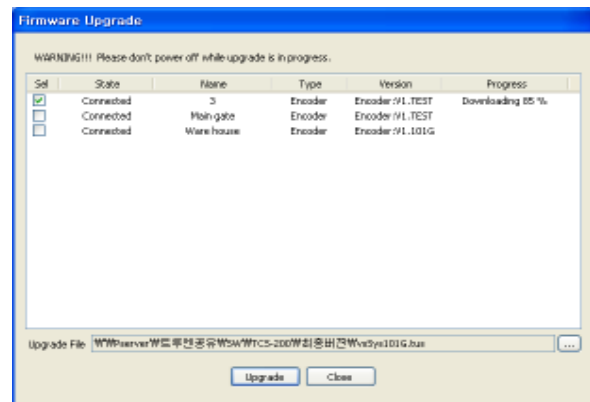
## サーバーの遠隔再起動

接続されたサーバーを選択した後 Tools メニューで Reboot を選択すればサーバーを遠隔再起動できます。

## F/W アップグレード

Tools メニューの Upgrade を選択すると F/W アップグレードのダイアログが現われます。

アップグレードしようとするサーバーを選択します (Sel 列のチェックボックスをチェック)いくつかのサーバーを同時にアップグレードできます。アップグレードファイルを選択し、Upgrade ボタンを押します。



※Progress が Upgrade succeeded になるまで待ちます、アップグレードには約 3 ~5 分程度必要となります。

**注意事項:** アップグレードの中には絶対にサーバーの電源を切らないで下さい。システムが動作しない状態になります。

ネットワーク状態が悪い場合アップグレードが失敗することがあります。このような場合には手順でやり直してください。

## 8. 付録 A : センサー及びアラームポート

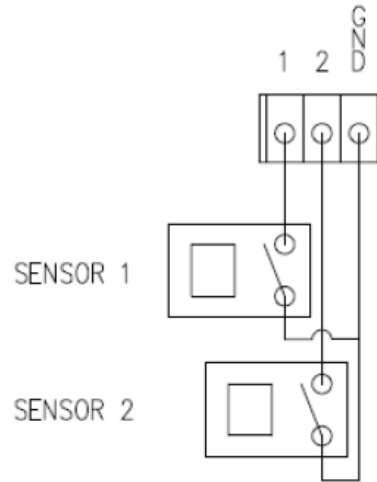
### 8.1 センサーポート

ターミナル接続仕様

\* 色 : 赤

センサー信号入力方式

- 接点を接続



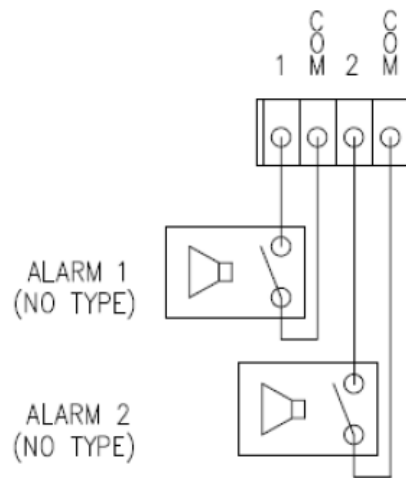
### 8.2 アラームポート

ターミナル接続仕様

\* 色 : 緑

リレー許容負荷

- \* 使用範囲 : 0.5A 125VAC/1A 30VDC
- \* 最大切換電力 : Max 30W 62.5VA
- \* 最大使用電圧 : Max 125VAC/60VDC



## 9. 付録 B : シリアルポート

### 1. RS-232 ポート

ポート仕様

- \* 3ピン 端子台
- \* ピンアサイン



\* ピン説明

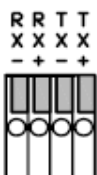
ピン番号	機能	ピン番号
1	TX	RS232 TX(送信)
2	RX	RS232 RX(受信)
3	GND	グラウンド

### 2. RS-422/485 ポート

ポート仕様

- \* 端子台-4 PIN
- \* ピン構成

RS-422/485 TERMINALS



\* ピンアサイン

端子	機能
TX+	RS-422/485_TX+
TX-	RS-422/485_TX-
RX+	RS-422/485_RX+
RX-	RS-422/485_RX-

## 外部装置接続

NO	RS-422 (4-Wire)		RS-485 (2-Wire)	
	LAN-FullHD264	外部装置	LAN-FullHD264	外部装置
1	TX+	RX+	TX+	→ TRX+
2	TX-	RX-	TX-	→ TRX-
3	RX+	TX+	RX+	
4	RX-	RX-	RX-	

# 品質保証書

## 製品品質保証書

器機の名称 : VIDEO CODEC

器機のモデル : LAN-NTSC264A 4ch

製造番号(S/N) :

保証期間 : 購入日から 1 年

保証期間中正しい仕様環境での正しい使用中の製品故障時は無料サービス致します。

(有料修理サービスの内容に含まれた事項は除外)

別途の製品保証期間を契約した場合にはそれに準じます。

### 保証規定

1. 操作説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合には、本保証書を本製品に添付のうえ、弊社までご持参或いはお送りいただければ、無償で修理いたします。この場合の交通費、送料及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張料金を申し受けます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
  - (1) 扱上の不注意、誤用による故障及び損傷
  - (2) 移動時の落下等による故障及び損傷
  - (3) 弊社以外による修理、改造による故障及び損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
  - (5) 本保証書の提示がない場合
  - (6) 本保証書にお買上年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合
  - (7) 接続している機器に起因して故障が生じた場合
3. 本製品の故障、又はその使用によって生じた直接、間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。
4. 設置場所の変更、転居、譲り受け、贈答等の場合は販売店または、弊社にお問合せください。
- 5.
- 6.

### 保障期間中の有料修理サービス

故障ではない場合にサービスを申し込んだ場合検査費用を請求します。

(例えば、他社システムの接続不良時、製品購入後使用マニュアルを必ず読んでください)

- 製品の移動または再設置時作業者の不注意によるシステム故障修理依頼
- 使用者の取扱上の、過失またはむやみに改造、修理して発生した故障修理依頼
- 製品の電源電圧の間違えで発生した故障修理依頼
- 天災、地震等(火事、潮海、水害など)による故障修理依頼
- 消耗性部品(LED、バッテリーなど)の寿命が考えられる場合の故障修理依頼

# DDNS サービス 利用申込書

サービス内容を承諾の上、以下の通り申し込みます

メンバーNO. \_\_\_\_\_

本サービスは弊社画像伝送装置をご購入のお客様に無償にて提供するサービスです。

お申込み日	平成 年 月 日
利用開始希望日	平成 年 月 日

■本サービスはサービス期限、サービス内容及びサービス利用によって生じた損失等について保証する物ではありません。

信頼性を求める場合は各プロバイダーの固定 IP サービスのご利用をお勧めいたします。(太枠内をもれなくご記入ください。)

【ご注意】①御利用開始までの期間は、弊社にて申込書の受付後、約1週間を必要とします。御利用開始希望日はお申込みから1週間程度を目安にしてください。②御利用開始希望日は、必ずしも接続開始をお約束するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

フリガナ		電話			
貴社名		部署			
お名前	法人の場合、法人名と代表者名を記入ください。	担当者			
■機器シリアルナンバー(※1)/希望ID(※2)					
シリアル番号	1	ID	第1	第2	第3
	2	ID	第1	第2	第3
	3	ID	第1	第2	第3

※1 ご使用になる LAN-NTSC264A 4CH のリアパネルに貼られているバーコードシールに記載されている機械番号を記入してください。

※2 ID には「×××.truecam.net」の「×××」部分の希望を第3希望までご記入ください。(英数小文字半角10文字以内)

■ 販売店記入欄 ※必ず洩れなくご記入ください。

代理店コード*		電話		FAX	
貴社名		部署		担当者	
お名前	法人の場合、法人名と代表者名を記入ください。	担当者			

## ■ ダイナミック DNS サービス

項目	内容
ご利用料金	無料
お申込み方法	本紙によりお申しいただけます。弊社にて申込書受領後(FAX可)手続き完了次第代理店へIDをご連絡いたします。 【送付先】〒183-0045 東京都府中市美好町2-9-2 アイゼック株式会社 DDNS サービス担当 TEL:042-369-2041 / FAX:042-369-2042

## ■ インターネットで遠隔監視を行なう為に

- Bフレッツ又はフレッツADSL等のブロードバンド接続回線が必要です。別途工事費と回線使用料金がかかります。
- インターネット接続業者「プロバイダー」との契約が必要です。別途工事費と接続料金が必要です。
  - プロバイダー経由でBフレッツ、フレッツADSLの申込みが可能な会社も有ります。
  - 接続機器としてモデムとブロードルーターが必要です。Bフレッツの場合、モデムはNTTからのレンタルとなります。
  - フレッツADSLの場合、モデムはレンタルか買い取りとなります。ルーターは別途手配又はレンタル
  - 詳しくはNTT又は各プロバイダーにお問合せ下さい。

注意 ダイナミックDNSのサービスには上記費用等は含まれておりません。

◎ 書類の流れ : お客様→(販売店)→代理店→アイゼック株式会社

◎ 本紙に記入した個人情報は本サービスの維持管理及び弊社商品の案内以外には使用いたしません。

## アイゼック使用欄

申込書受付	年	月	日
手続き完了	年	月	日

係印	承認印



●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

水、湿気、湯気、油煙の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることもあります。

## アイゼック 株式会社

〒183-0045 東京都府中市美好町 2-9-2

TEL 042-369-2041 FAX 042-369-2042

URL <http://www.isecj.jp/>